

冲冠
嶺著

十八史略譯解

五

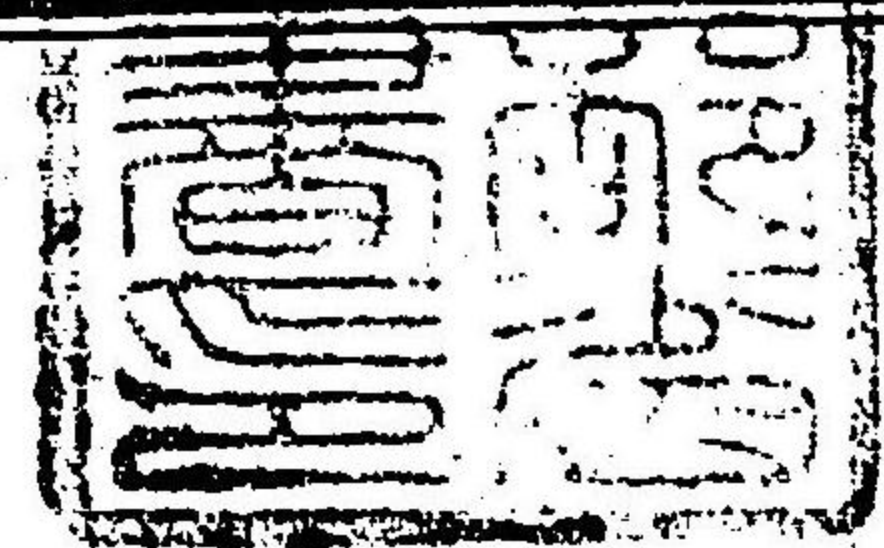
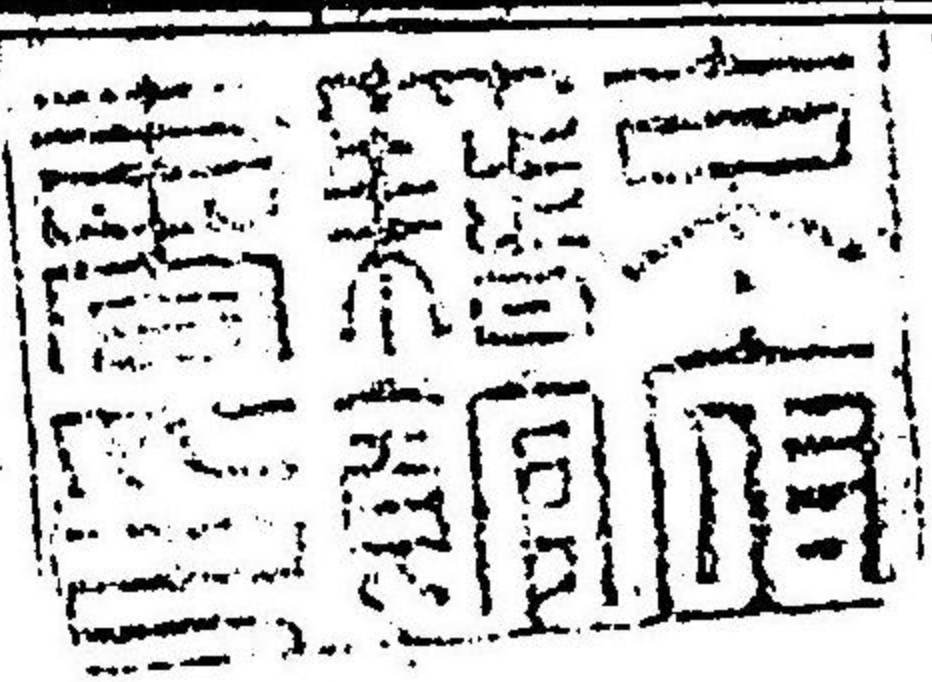
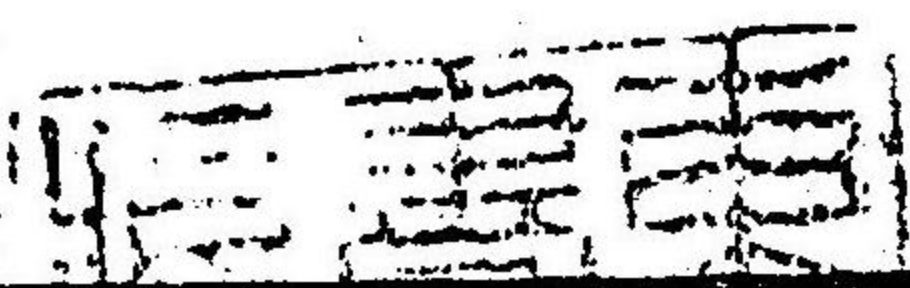
特31

732

館籍書會育教本日大			
室		第	
一	五		二
二冊	四號	五架	九函

共五冊

特31
732



沖冠嶺著十八史畧譯解卷之五

東京 冠嶺沖正脩編輯

孝章皇帝名ハ烜、母ハ賈氏、馬皇后之ヲ
養フ、立テ太子トナル、是ニ至テ即位
ス、○西域攻テ都護ヲ没ス、北匈奴已
校尉ヲ圍ム、又耿恭ヲ圍ム、詔ノ兵ヲ
遣ル、都護及ヒ成已校尉ノ官ヲ罷ム
惟班超上疏ノ兵ヲ請フ、遂ニ西域ヲ

〔耗〕減ナリ

平ケント欲ス、上、功ノ成ル可キヲ知
 テ、之ニ從フ。○北匈奴五十八部來降
 ス〔五十八部〕名号時ニ、北匈奴衰耗ス、
 黨衆離レ畔久、南部其ノ前ヲ攻ム〔南
部〕南匈奴丁零其ノ後ニ寇ス〔丁零國、西
部〕鮮卑其ノ左ヲ撃チ、西域其右ヲ攻ム、
 復自立セス、乃チ遠ク引テ去ル、鮮卑、
 撃テ北單于ヲ斬ル、故部衆來降スル
 者アリ。○上崩ス、在位十三年、改元ス
 ル者三ツ、曰ク、建初、元和、章和、壽三十
 一、上明帝察々ノ後ヲ繼テ、人ノ苛切

〔察々〕煩苛ナリ

〔之〕候フ、伺候
 謁見ヲ謂フナ
 リ〔捧〕兩手モテ
 承ルナリ

ヲ厭ヲ知リ、事寬厚ニ從ヒ、之ニ文ル
 ニ礼樂ヲ以テス、嘗テ貢舉ノ法ヲ議
 ス、韋彪議ノ曰ク、國ハ賢ヲ簡〔簡〕ヲ以テ
 務トナス、賢ハ、孝行ヲ以テ首トナス、
 忠臣ヲ求ルニハ、必ス孝子ノ門ニ於
 テスト、上、之ヲ然トス、廬江ノ毛義〔廬
江〕國、廬州行義ヲ以テ稱セラル、張奉之
 一、〔侯〕府檄適〔適〕至ル、義ヲ以テ安陽ノ
 令ニ守タラシム〔安陽〕縣彰義、檄ヲ捧
 ケテ入ル、喜ヒ顔色ニ動ク、奉、心ニ之
 ヲ賤シス、後ニ義カ母死ス、徵〔徵〕碎ニ皆

〔儒〕短衣ナリ

〔忠怒〕已ヲ盡ス
ヲ推ヲ怒ト為

ナ至ラス、奉、乃チ歎ノ曰ク、往日ノ喜
ハ、親ノ為ノニ屈スルナリト、上、詔ヲ
下ノ之ヲ褒寵ス、州郡、人ヲ得タリ、廣
〔蜀郡〕即禁ヲ
弛ベ、以テ民ニ便ニス、民之ヲ歌テ曰
ク、庶幾度来、何暮、不禁火、民安作、昔無
〔新度〕范ノ字、通鑑ニ成都
〔成都〕舊
〔蜀郡〕即禁ヲ
弛ベ、以テ民ニ便ニス、民之ヲ歌テ曰
ク、庶幾度来、何暮、不禁火、民安作、昔無
〔新度〕范ノ字、通鑑ニ成都
〔成都〕舊
ノシ、ハル、當時皆ナ以テ、徭ヲ平ケ、賦ヲ
簡ニス、忠怒ノ長者、政ヲ為ス、上ノ世
ヲ終ルマテ、民其ノ慶ニ頼ル、太子立

〔之〕子ト為ス、養
テ子ト為ス、養
リ、罪アリ、都郷
侯暢来リ、國憂
ヲ吊ス、太后、教
ル、憲、暢カ官省
ノ權ヲ分シ、官省
シ、暢ヲ客ヲ遣ハ
ス、暢ヲ刺シ、殺
〔御校〕公、御將校

ツ、是ヲ孝和皇帝ヲ為ス

〔孝和皇帝〕名ハ肇、母ハ梁氏、竇皇后之ヲ

子トス、年十歳ニシテ即位ス、竇后、朝ニ
臨ム、竇憲、外戚ヲ以テ侍中タリ、事ヲ
用ユ、罪アリ、出テ、北匈奴ヲ撃テ以
テ自ラ贖ハント求ム、后、之ニ從フ、大
ニ匈奴ヲ破レ、燕然山ニ登リ、石ヲ刻
シ、功ヲ勒メ還ル、〔燕然山〕宣德入テ大
將軍ト為ル、四年、父子兄弟、並ニ御校
トナル、朝廷ニ充滿ス、逆謀アリ、上、之
ヲ知ル、遂ニ宦者鄭衆ト議ヲ定メ、兵

〔自殺〕太后ノ故ヲ以テ、誅ト名スツクルヲ欲セ

ヲ勤メ、憲カ印綬ヲ収メ、迫テ自殺セシム、衆ヲ以テ大長秋ト為ス〔大長秋〕宮中ノ宣命ヲ奉スルヲ掌トル。○常皇太后ノ居ル所ヲ、長秋宮ト曰フ。ニ與ニ政ヲ議ス、宦官、權ヲ用ル。此ニ始マル。○是ヨリ先キ、漢兵、北單于ヲ擊ツ、走死ス、漢其ノ弟ヲ立ツ〔弟〕名ハ後ニ叛ス、追ヒ斬テ之ヲ滅ス、鮮卑徙テ北匈奴ノ地ニ據ル、此ヨリ漸ク盛ナリ。○班超〔班〕ヲ徵メ、京師ニ還ラシム、卒ス、超書生ヨリ起リ、筆ヲ投メ万里ノ外ニ封侯タルノ志アリ、相者アリ、

〔領〕頤ノ下ヲ、領トヨフ

謂テ曰ク、生ハ燕〔燕〕領虎頭、飛テ肉ヲ食フ、万里侯ノ相ナリト、假〔假〕司馬ヨリ西域ニ入ル、章帝ノ時、西域ノ將兵ノ長史ト為ル、上、超ヲ以テ西域ノ都護騎都尉ト為スニ至テ、諸國ヲ平定ス、西域ニアル三十年、功ヲ以テ定遠侯ニ封ス、〔定遠〕邑、洋是ニ至テ、年ノ老タルヲ以テ帰ヲ乞フ、願クハ生テ玉門關ニ入ラント、上、之ヲ許ス、任〔任〕尚代テ都護ト為ル、教ヲ請フ、超カ曰ク、君カ牲嚴急ナリ、水清ケレハ大魚ナシ、且ク

蕩佚 佚蕩言緩ナリ

〔永元〕即位ノ二年、己丑ニ改元

〔蕩〕未タ人ト成ラズノ死スル

〔蕩〕ト曰フ

〔策〕冊ト通ス、帝ヲ立ツル冊ナリ

蕩佚ニノ簡易ナルヘシト、尚、私ニ人

ニ謂テ曰ク、我レ班君奇策アリト、以

テ、今マ言フ所口、平々タルノミト、尚

後果ノ邊和ヲ失ス、超カ言ノ如シ○

上、在位十八年ニノ崩ス、改元スル者

ニツ、曰ク、永元、元興、太子立ツ、是ヲ孝

〔蕩〕皇帝ト為ス

〔孝〕〔蕩〕皇帝名ハ隆、生テ百餘日ニノ即位

シ、延平ト改元ス、位ニ在テ八夕ヒ月

ヲ閱テ崩ス、時ニ皇太后鄧氏、朝ニ臨

ム、鄧騰ト策ヲ定メ、嗣ヲ立ツ〔騰〕太后

冠冠ヲ加フル
冠冠ト曰フ
冠冠ト曰フ
冠冠ト曰フ
冠冠ト曰フ
冠冠ト曰フ
冠冠ト曰フ
冠冠ト曰フ
冠冠ト曰フ
冠冠ト曰フ

是ヲ孝安皇帝ト為ス

〔孝安皇帝〕名ハ祐、清河王慶ノ子、章帝ノ

孫ナリ、未タ冠セズ、迎ラレテ位ニ即

ク〔清河〕國、息鄧后、仍ヲ朝ニ臨ム、鄧騰

大將軍ト為ル、時ニ邊軍多事ナリ、鄧

騰、涼州ヲ棄テ、カヲ北邊ニ并サシ

ト欲ス、北邊ハ、并州ヲ指スナリ、是ノ

役方ニ費ヘ、事相瞻ラサレテ、鄧騰軍

州ヲ棄テカヲ并州ニ并サシト欲ス、涼

郎中虞詡以テ為ラク、不可ナリト曰ク、

關西ハ將ヲ出シ、關東ハ相ヲ出ス、列

狂士ヲ募ル云
賊ヲ以テ賊
ヲ誘ク、兵ヲ用
ユル術ナリ

ナ 詔カ議ニ從フ多ク涼州ヨリ出ツ
ハ 即チ三輔ヲ以テ塞ト為ス 隲 詔ヲ
ノ 語アリ、詳ニ通鑑ニ見ユ
惡テ、之ヲ陷ント欲ス、朝歌ノ賊 寯 李
等 數千人、長吏ヲ攻メ、屯 聚連年、
州 郡禁スル能ハサルニ會フ 〔朝歌〕邑、
屬 詔ヲ以テ朝歌ノ長ト為ス、故舊皆
之ヲ吊フ、詔カ曰ク、盤根錯節ニ遇ハ
ズンハ以テ利器ヲ別ツナシト 介 斧
テ 自ラ諭フナリ、言ハ、樹根ノ盤互、木
節ノ交錯ニ遇ハ、堅利ノ器ニ非シ、木
ル能ハ治ス 官ニ到ルニ及テ、壯士ヲ
募ル、攻劫スル者ヲ上ト為ス、人ヲ傷

〔綵〕色ナリ 〔裾〕後
〔襪〕驚ナリ 曰フ

リ 偷盜スル者ハ、之ニ次クト、百餘人
ヲ 收メ得テ、賊中ニ入ラシム、誘テ劫
掠セシム、兵ヲ伏シ、數百人ヲ殺シ、又
潜カニ貧人ノ能ク縫スル者ヲメ、賊
衣ヲ傭作シ、綵線ヲ以テ其ノ裾ヲ縫
フ、市里ニ出ル者アレハ、輒チ之ヲ擒
ニス、賊駭キ散ス、縣ノ境皆ナ平ク、太
右、詔カ將帥ノ略アルヲ知テ、以テ武
都ノ太守ト為ス 〔武都〕郡、鞏昌ニ叛 羗
數千、詔ヲ遊ル、詔停テ進マス、兵ヲ請
テ、到ヲ須テ乃チ發センド 宣言ス、羗

虞詡軍士ヲノ兩竈ヲ禁カシムル圖



之ヲ聞テ、傍縣ヲ分鈔ス、詡、其ノ散スルニ曰テ、日夜道ヲ進ミ、軍士ヲ各兩竈ヲ作り、日ニ之ヲ増倍ス、或人曰ク、孫臍ハ竈ヲ減ス、而ルニ君ハ之ヲ増ス、兵法ニ日ニ行ク丁三十里ニ過キスト、而ルニ今日ニ且サニ二百里ナルハ何ソヤト、詡カ曰ク、虜ハ衆多ナリ、吾カ兵ハ少ナリ、徐カニ行カハ為ノニ及ハレ易シ、速ニ進マハ則チ彼レ測ラス、虜、吾カ竈ノ日ニ増スヲ見ハ、郡兵来リ迎ト謂ハシ、衆多クソ

鈔奪取ナリ
見示ナリ

行ク速ナラハ、必ス我ヲ追フヲ憚ラシ、孫臍ハ弱ヲ見ス、吾レ今マ強ヲ示ス、勢ヒ同カラサレハナリト、既ニ到ル、郡ノ兵三千、而ルニ羗ハ万餘、赤亭ヲ攻メ圍ム数十日、詡命ス、強弩ハ發スル勿レ、潛カニ小弩ヲ發セヨト、羗矢ノ力弱メ、至ル能ハスト謂テ、兵ヲ并セテ、急ニ攻ム、是ニ於テ、二十ノ強弩ヲ共ニ一人ヲ射ラシム、發スレハ中ラサルナシ、羗大ニ驚ク、詡、曰テ城ヲ出テ奮撃ス、明日ニ悉ク其ノ兵

荀淵黃憲ヲ見ル圖



ヲ陣シ東郭門ヨリ出テ、北郭門ニ
 入ラシム衣服ヲ賣場ノ回轉スル數
 周、羗其ノ數ヲ知ラス、相恐動ス、詔潛
 カニ淺水ニ於テ、伏ヲ設テ其ノ走路
 ヲ候フ、羗果ノ犬ニ奔ル、曰テ掩ヒ擊
 テ大ニ之ヲ破ル、賊是ニ由テ敗散ス
 ○太后崩ス、鄧騭罷ラレテ自殺ス○
 汝南ノ太守王龔汝南郡名即才ヲ
 好ミ士ヲ愛ス、袁閔ヲ以テ功曹トナ
 ス功曹郡ノ録事黃憲陳蕃等ヲ引キ
 進ム、憲カ父ハ牛醫タリ、憲年十四、顔

周編ナリ逆旅客次ヲ、
 旅ト曰フ疎敬、
 ナリ師表、
 儀表顔子、
 黃憲ニ喻フナ
 リ、
 惘然志ヲ失フ
 貞
 時月朔ヨリ晦
 二至ルヲ一月
 一為ス、三月ヲ
 一時トナス

川ノ荀淵、逆旅ニ遇フ、疎然トシテ之ヲ
 異トス、曰ク、子ハ吾ノ師表ナリト、聞
 ヲ見テ曰ク、子カ國ニ顔子アリト、聞
 カ曰ク、吾カ材度ヲ見ルヤト材度憲
 戴良才高シ、毎ニ憲ヲ見テ帰ル、惘然
 トシテ自失スルカ若シ、其ノ母ノ曰ク、
 汝復牛醫ノ兒ヨリ来ルヤト本傳、對
 良材度ヲ見サレハ、自ラ以テ及ハス
 ト為サス、既ニ其ノ人ヲ觀レハ、則チ
 ノ後ニアル、固ニ得テ測リ難キノ語
 リ、陳蕃等、相謂テ曰ク、時月ノ間モ、黃
 生ヲ見サレハ、鄙吝ノ荀シ、復夕心ニ

〔沈〕濫泉ノ側出
 出ヲ、濫ト曰フ
 〔汪〕々水ノ深廣
 ノ、負〔項〕田百畝
 一頃トナス
 〔堂〕下ニ三鱣魚
 アリ、三鱣魚ヲ
 啣テ、飛テ講堂
 ノ前ニ集ル〔鱣〕
 鮮ト通ス、魚蛇
 ニ似テ、黃身黒
 文〔三〕公ノ象、蛇
 鱣ハ、卿大夫ノ
 服ノ象ナリ、數
 三ハ三公ノ象
 ナリ
 〔郡守〕揚震、嘗テ
 東萊郡ノ守ト
 ナル

存スト、太原ノ郭泰〔太原〕府、山閔ニ過
 ルトキ、宿セス、憲ニ從ヒ、日ヲ累ヌ、曰
 ク、奉高ノ器〔奉高〕閔之ヲ沈濫ニ譬ス、
 清ト雖モ挹ミ易シ、泚度ハ汪々タル
 千頃ノ波ノ若シ、之ヲ澄セ、凡清マス、
 之ヲ撓〔撓〕汚ラス、量ル可ラサルナリ
 ト、憲初メ孝廉ニ舉ラレ、又公府ニ辟
 サル、人其ノ仕ヲ勸ム、憲亦之ヲ拒マ
 ス、暫ク京師ニ到テ、即チ還ル、竟ニ就
 ク所ナシ、年四十八ニシテ終フ、○太尉
 揚震自殺ス、震ハ關西ノ人〔關西〕長安

楊震四知圖



關西ト時人之ヲ稱ソ曰ク、關西ノ孔
 謂フハ、揚伯起ト〔伯起〕揚生徒ニ教授ス、
 堂下ニ三鱣魚ヲ得タリ、都講以為ラ
 ク三公ノ象アリト、取テ以テ進テ曰
 ク、先生此ヨリ升ラント、後ニ嘗テ郡
 守ト為ル、屬邑ノ令〔屬邑〕令王密金
 ヲ懷ニシ、之ヲ遺ル者アリ、曰ク、暮夜
 ニ知ル者ナシト、震カ曰ク、天知ル、地
 知ル、子知ル、我知ル、何ソ知ルナシト
 謂ハント、令慚テ退久、三公ト為ルニ
 及テ、時ニ宦者及ヒ上ノ乳母王聖、事

請托皆ナ其ノ
所親ヲ震ニ屬
託ノ其ノ薦舉
ヲ求ム近習親
近狎習ノ人ナ
リ即チ宦者樊
豐周廣謝憚ノ
輩震又數奏ノ
王聖及ヒ宦者
ヲ屏棄セシト
請フ共ニ之ヲ
構フ宦者震ヲ
怨テ共ニ禍ヲ
構テ以テ之ヲ
害ス策ノ印綬
ヲ収ム策ハ免
冊ナリ大臣ヲ
罷免スルニ必
ス冊書ヲ用ユ

大鳥墓前俯仰スル圖



ヲ用ユ〔王〕ハ姓皆ナ請託アリ、震從ハ
ス、又數近習ヲ以テ言ヲ為ス、共ニ之
ヲ構フ、策ノ印綬ヲ收ム、遂ニ死ス、乃
チ棟慨、其ノ諸子門人ニ謂テ曰ク、死
ハ士ノ常分、吾レ疾ハ而メ誅スル能
ハス、姦臣ノ狡傾亂ヲアツテ復タ月
能ハス、何ノ面目ヲ飲テ卒ス、詔ノ震
見ニヤト、目テ鳩ヲ為ス、錢百葬ムル
カニ子ヲ以テ郎ト改葬ス、大鳥アリ、高
万ヲ贈ル礼ヲ以テ改葬ス、大鳥アリ、高
ノ日、名士皆ナ来リ會ス、大鳥アリ、高
サ文餘、墓前ニ至テ、俯仰シ、流涕メ去
ル○上少メ、聰明ト号ス、既ニ位ニ即
テ、失徳多シ、在位十九年ニ崩ス、改

元スル者、五ツ、曰ク、永初、元初、永寧、建
光、延光、太子先キニ近習ノ為メニ譖
セラレ、坐廢セラレテ濟陰王ト為ル
〔濟陰〕國、曹闞皇后朝ニ臨ミ、闞頭ト章
州ニアリ、孫北郷侯懿ヲ迎ヘ、位ヲ嗣カシ
ム、懿齊北王ノ子、位ヲ宦者孫程等、頭
ヲ誅シ、闞后ヲ近シ、濟陰王ヲ迎ヘ立
ツ、是ヲ孝順皇帝トナス
〔孝順皇帝〕名ハ保、孫程等カ為メニ立テ
ラル、宦者、切ヲ以テ侯ニ封セラル、
者十九人、孫程、王康、王國、黃龍、彭愷、孟
并、李建、王成、張賢、史梁、馬國

〔賤奏〕文賤、説文
ニ云、表ナリ、識
ナリ、書ナリ、皇
后太子王府ニ
上ルヲ、賤ト曰
ス、主ニ奏スル
ヲ、表ト曰フ

〔至ル者〕廣陵ノ
徐紉

王道、李元、陽陀、陳予、○尚書令左確奏
趙封、李剛、魏猛、苗光、○尚書令左確奏
ノ郡國ニ令メ、孝廉ヲ舉ク、年四十以
上ヲ限ル、諸生ノ章句ニ通スル、文吏
ハ賤奏ヲ能スル、乃チ選ニ應スルヲ
得ル其ノ茂材異等アル、顔淵子奇ノ
若キハ、年齒ニ拘ラスト〔子奇〕尹吉甫
リ、新序ニ、子奇ハ、齊人ナリ、年十八、齊
ノ君之ヲソ阿ヲ治メシム、阿ニ至ルテ
其ノ庫之ヲ出テ、以テ貧窮ヲ賑ス、阿ノ
倉廩ヲ出メテ、以テ貧窮ヲ賑ス、阿ノ
大ニ確、公直精明ニシテ、能ク真偽ヲ審
化ス、志ヲ決シ、之ヲ行ス、少年ヲ舉ゲ
覈ス、至ル者アリ、確之ヲ詰テ曰ク、顔回ハ

〔分行〕部ヲ分テ、
行リ案ス

一ヲ聞テ十ヲ知ル、孝廉一ヲ聞テ、幾
ハクヲ知ルヤト、頃クソ中外謬舉ニ
坐セラレテ黜免スル者十餘人、惟汝
南ノ陳蕃、潁川ノ李膺、下邳ノ陳球等
三十餘人、郎中ニ拜セラレ、ヲ得タ
リ○皇后ノ父、梁商ヲ以テ大將軍ト
為ス、商死ス、其ノ子冀ヲ以テ大將軍
ト為ス、不疑ヲ河南ノ尹ト為ス、不疑
弟使者八人ヲ遣リ、州郡ヲ分行セシ
ム、〔八〕杜高、周舉、周栩、馬羨、張綱、郭
石、臧、巡、行、罪、顯、明、ナル者アレハ、驛馬ヲ以テ

勅罪人ヲ推窮
スルヲ、効ト曰
フ〔十五事〕條目
未夕詳ナラス

テ之ヲ上ツル、墨綬以下ハ便チ輒チ
收舉ス、其ノ清忠惠利宜シク表異ニ
スハキ者アレハ、皆張綱獨リ其ノ車
輪ヲ洛陽ノ都亭ニ埋テ曰ク、豺狼道
ニ當ル、安ソ狐狸ヲ問ント〔都亭〕城内
〔豺狼〕冀ト不疑トニ喻フ〔狐狸〕冀ト不
刺史郡守及ヒ長吏ニ喻フ
疑カ君ヲ無スルノ心ヲ勅奏スル十
五事、上、綱力言ノ直ナルヲ知レ、用
ユル能ハス、冀之ヲ中傷セント欲ス、
廣陵ノ賊張嬰揚徐ノ間ヲ寇乱スル
十餘年〔廣陵〕郡淮東ニ屬ス、今ノ揚州
州ノ一、即乃チ綱ヲ以テ、廣陵ノ太守
チ彭城

南州晏然南方
ノ州郡晏然ト
ノ平靜ナリ

部ヲ行クル郡
邑ヲ巡案スル
ヲ部ヲ行クスル
ト曰フ

ト為ス、綱、單車ニノ徑チニ嬰カ壘門
ニ詰リ、請テ與ニ相ヒ見テ之ヲ譬曉
ス、嬰等万餘人降ス、綱、壘ニ入テ宴ス、
散シ遣メ之ク所ニ任ス、南州晏然夕
リ、郡ニ在テ卒ス、嬰等之力為メニ服
ヲ制シ、喪ヲ行フ、時ニ二千石ノ長吏
政ヲ能スル者アリ、冀州ノ刺史、蘇章
故人ノ清河ノ太守ト為ルアリ〔清河〕
東ニ屬ス、今ノ恩州、漢、冀州章、部ヲ行
ニ隸ス、刺史ノ領スル所口
ル、其ノ姦臧ヲ案セント欲ス、乃チ太
守ヲ請テ、為メニ酒肴ヲ設テ、平生ノ

封ヲ益ス梁冀
カ益封万二千
戸
固高獄ニ下ル
詳ニ通鑑ニ見

孝桓皇帝名ハ志、章帝ノ曾孫ナリ。間、
生、間、翼ヲ生、年十五ニ即位ス。
翼、桓帝ヲ生、年十五ニ即位ス。
梁冀、定策ノ功ヲ以テ、封ヲ益ス。又其
ノ子弟ヲ封シ、皆ナ侯トス。冀カ弟不
侯、蒙ヲ西平侯、李固、杜高、清河王蒜ヲ
胤ヲ襄邑侯。立テント欲ス。蒜、曾孫是ニ至テ、蒜、貶
セラレテ侯ト為テ自殺ス。固、高、獄ニ
下テ死ス。蒜、尉氏侯ニ徙ル。遂ニ自殺ス。
○前ノ朗陵侯ノ相、潁川ノ荀淑、朗陵
寧ニ屬ス。蓋シ漢ノ宗室ノ子ナリ。詳少ノ
博學ニ高行アリ、李固、李膺等皆ナ

荀爽李膺ニ謁スル圖



之ヲ師宗トス、朗陵ニ相トス、治、神君
ト称ス。子八人アリ。八人、儉、緝、清、時、人
称ノ八龍ト為ス。其ノ六ヲ爽ト曰フ、
字ハ慈明、人ノ言ク、荀氏ノ八龍、慈明
ハ無雙ト、縣令、潁陰、縣、其ノ里ヲ
命ノ、高陽里ト曰フ。高陽里、高陽氏、才
爽、嘗テ李膺ニ謁ス、曰テ之カ為ソ
ニ御ス、既ニ還テ喜テ曰ク、今日乃チ
李君ニ御スルヲ得タリト。言ハ、李膺
ノ人、且ツ風裁ヲ持メ、輕ク容接セズ、
故ニ今マ一タヒ之カ為メニ、鞭ヲ執
以テ得テ、亦榮幸ト為シ。同郡ノ陳寔、

優劣才餘アル
ヲ優ト曰フ、足
ラサルヲ、劣ト
曰フ

ト名ヲ齊ス、嘗テ泚ニ詣ル、長子紀字
ハ元方、車ヲ御ス、次子謙字ハ季方、驂
乗ス、孫群字ハ長文、尚幼ナリ、車中ニ
抱テ、泚カ家ニ至ル、八龍更ニ送ニ左
右ニ侍ス、泚カ孫或字ハ文若、尚幼ナ
リ、膝上ニ抱置ス、太子奏ス、德星見ル、
五百里ノ内、賢人ノ聚ルアラント、寔
嘗テ大丘ノ長ト為ル、天丘邑、亳州ニ属ス、德
脩テ清浄ナリ、吏民之ヲ追思ス、紀謙
ノ子其ノ父ノ優劣ヲ其ノ祖ニ問ス、
寔カ曰ク、元方ハ、兄ト為シ難シ、季方

獨行卓異目ヲ獨
ト曰フ、綱目ノ
注ニ、獨行人ニ、
ヲ守テ、人ニ依
リ阿ラサルニ、
言フナリ、結繩
ノ約云々、上結繩
ハ、繩ヲ結テ、
テ事ヲ記ス、
泰ニ至テ、則チ
端緒多シ、而チ
此ヲ以テ、之ヲ
治メ、難シ

ハ、弟ト為シ難シト、言ハ、元方兄タリ、
雖モ、其ノ才德ニ至テハ、則チ元方必
シモ、季方ノ上ニ出テス、兄弟ノ次ニ、
元方ノ下ニアラズ、兄弟ノ次ニ、
可ラサルナリ、ハ、ハサ兄弟トナリ、
ノ道ヲ盡ス、ハ、ハサ兄弟トナリ、
行ハシム、ハサ兄弟トナリ、
方難シ、ハサ兄弟トナリ、
リシム、ハサ兄弟トナリ、
ケシム、ハサ兄弟トナリ、
ル、ハサ兄弟トナリ、
門、ハサ兄弟トナリ、
メテ、ハサ兄弟トナリ、
ナリ、ハサ兄弟トナリ、
ニ曰ク、聖人ハ、能ク世ト推シ移ル、俗
士ハ、苦テ變ヲ知ラス、以為ラク結繩

千羽ノ舞云々
羽ハ警ナリ舞
者ノ執ル所口
文ノ教ヲ修闡ス
舜干羽ヲ舞ノ
有苗格ル舞奴
高帝ヲ平城ニ
圍ム若キハ則
チ時勢異ナリ
而シテ此ヲ以テ
之ヲ解シ難シ
馭御ト同シ其
ハ馬ノ口銜ナリ
リ、駟皆脱ナリ
四牡皆脱ナリ
ル所ノ天子ノ
奔ル其ノ道ニ
由ラサルナリ
皇路王路ナリ

ノ約ハ復タ乱秦ノ緒ヲ治ム可シ、
羽ノ舞ハ以テ平城ノ圍ヲ解ク可シ、
夫レ刑罰ハ乱ヲ治ムル藥石ナリ、徳
教ハ平ヲ興スノ梁肉ナリ、徳教ヲ以
テ殘ヲ除クハ是レ梁肉ヲ以テ疾ヲ
治ムルナリ、刑罰ヲ以テ平ヲ治ムル
ハ是レ藥石ヲ以テ供養スルナリ、教
世ヨリ以来、政ハ恩貸多ク、馭其ノ轡
ヲ委ツ、馬其ノ銜ヲ駟ク、天子語ニ古者
以テ銜勒ト為シ、百官ヲ以テ轡策ト
為ス、故ニ善ク馬ヲ馭スル者ハ銜勒
ヲ正シ、轡策ヲ齊ス、善ク人ヲ馭ス
者ハ其ノ徳法ヲ一ニシ、其ノ百官ヲ

勒馬轡ナリ
車ノ轡ナリ
和ハ轡ニ
轡ハ轡ニ
車行ハ轡ニ
鳴テ、轡應ス
ナリ
通首尾ト具
ルヲ通ト曰フ

正ス、四牡横ニ奔ル、皇路險傾ス、方ニ
將ニ勒ヲ紺シ、鞅ヲ鞅シ、以テ之ヲ救
ハントス、豈ニ和鑿ヲ鳴シ、節奏ヲ清
スルニ暇アラシヤ、昔シ文帝肉刑ヲ
除クト雖モ、右趾ヲ斬ニ當スルヲ棄
市シ、笞ル、者往々死ニ至ル、是レ文
帝、嚴ヲ以テ平ヲ致ス、寛ヲ以テ平ヲ
致スニ非ルナリ、仲長統其ノ書ヲ見
テ曰ク、凡ソ人主ト為ラハ、宜ク一通
ヲ寫メ、之ヲ坐側ニ置クヘシト、
統ハ名、申陽郡、
高平縣ノ人、
○朱穆、冀州ノ刺史ト

東漢 桓帝 去

〔玉匣〕金縷
衣ナリ、通
云、漢舊儀ニ、帝
角スレハ、舎ニ
珠ヲ以テシ、
重ヲ以テシ、
ヲ以テシ、
ス、鎧ノ襦
之ヲ連テ、
黄ニ以テ、
ヲ下ニ、
以テ、
尺ノ廣サ、
尺ノ廣サ、
尺ノ廣サ、
尺ノ廣サ、
尺ノ廣サ、
尺ノ廣サ、
尺ノ廣サ、
尺ノ廣サ、
尺ノ廣サ、
尺ノ廣サ、

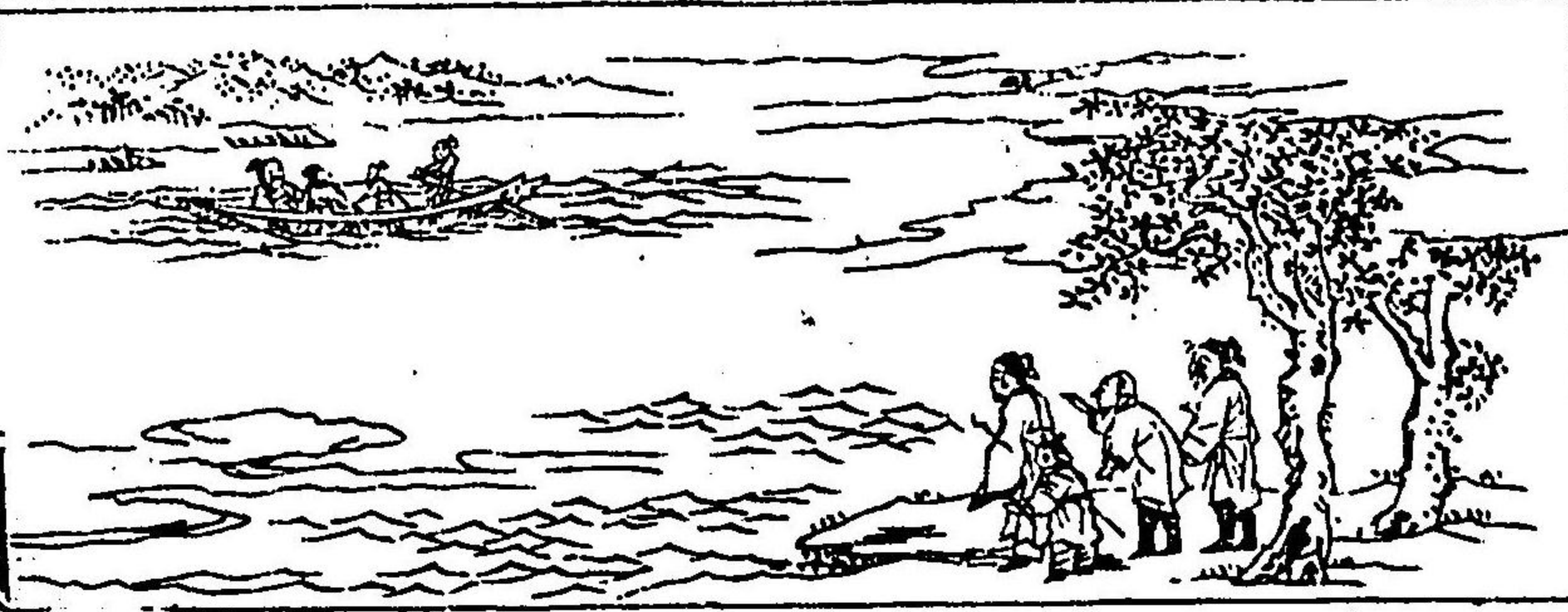
為ル、令長風ヲ望テ印ヲ解テ去者數
十人、到ニ及テ貪汚ヲ奏効ス、宦者忠
帰テ父ヲ葬ムルニ、僭ノ玉匣ヲ用ユ
ルアリ、穆、案驗ノ其ノ棺ヲ剖シ、之ヲ
出ス、上、聞テ大ニ怒ル、穆ヲ徵ノ廷尉
ニ詣ラシム、大學生劉陶等數千人、上
書ノ穆ヲ訟ス、謂ク中官國柄ヲ竊持
ノ、手ニ玉爵ヲ握リ、口ニ天憲ヲ銜ム、
穆、獨リ抗然トメ顧ス、心ヲ竭シ憂ヲ
懷テ、上ノ為ノニ深ク計ル、臣願クハ、
穆カ罪ニ代ラント、上、之ヲ赦ス、陶又

シ、故ニ之ヲ
甲ト謂フ、
ハハハハハ
ハハハハハ
ハハハハハ
ハハハハハ
ハハハハハ
ハハハハハ
ハハハハハ
ハハハハハ
ハハハハハ
ハハハハハ

上疏ノ、穆及ヒ李膺ヲ以テ、王室ヲ輔
ント乞フ、書奏ス、省セス、○梁冀、凶恣
日ニ積ム、外戚ヲ以テ事ヲ用ユル者
二十年、威内外ニ行ハル、天子手ヲ拱
スルノミ、上、宦者單超等ト謀テ、兵ヲ
勒ノ冀カ印綬ヲ収ム、冀自殺ス、梁氏
少長トナク皆棄市セラル、超等五人
皆ナ侯タリ、唐、衡、世、是、五侯ト謂フ
冀、誅セラレテヨリ、天下異政ヲ想ヒ
望ム、黄璜首トシ、大尉ト為ル、○陳蕃
處士徐穉、美肱等ヲ薦ム、穉字ハ孺子

〔笈〕書籍ナリ水ヲ以テ綿ニ漬ス水ヲシテ酒氣ヲ去レハ則チ之ヲ懸ク、釋諸公ノ辟ニ應セス、然レ其死ヲ聞ケハ、輒笈ヲ負テ、赴吊ス、豫ノ一雞ヲ炙テ、酒ヲ以テ綿ニ漬シ、暴乾ノ之ヲ累ミ、冢隧ノ外ニ到リ、水ヲ以テ綿ヲ漬シ、白茆ヲ以テ飯ニ藉テ、雞ヲ以テ前ニ置ク、祭畢テ、謁ヲ留テ、喪主ヲ見スノ行ル、肱ハ彭城ノ人ナリ、二弟仲海、季江ト俱ニ孝友アリ、常ニ被ヲ共ニス、嘗テ盜

豫章ノ人、陳蕃守タリシ時、賓客ニ接セス、特ニ一榻ヲ設テ、以テ釋ヲ待ツ、去レハ則チ之ヲ懸ク、釋諸公ノ辟ニ應セス、然レ其死ヲ聞ケハ、輒笈ヲ負テ、赴吊ス、豫ノ一雞ヲ炙テ、酒ヲ以テ綿ニ漬シ、暴乾ノ之ヲ累ミ、冢隧ノ外ニ到リ、水ヲ以テ綿ヲ漬シ、白茆ヲ以テ飯ニ藉テ、雞ヲ以テ前ニ置ク、祭畢テ、謁ヲ留テ、喪主ヲ見スノ行ル、肱ハ彭城ノ人ナリ、二弟仲海、季江ト俱ニ孝友アリ、常ニ被ヲ共ニス、嘗テ盜



李膺郭泰同舟ニ濟ル

ニ遇フ、兄弟死ヲ争ス、盜兩ナカラ之ヲ釋ス、釋肱徵サル、皆ナ至ラズ、黃瓠卒ス、四方ノ名士、葬ニ會スル者七千人、釋至ル、爵ヲ進テ、哀哭ス、去ル、諸名士之ヲ聞テ、其釋ナルヲ疑フヤ、陳留ノ郭泰曰ク、孺子國事ヲ問フ、答ヘス、太原ノ郭泰曰ク、孺子國事ヲ答ヘス、是レ其ノ愚及フ可ラサルナリト、泰初ノ洛陽ニ游ス、李膺ト与ニ友タリ、膺嘗テ郷里ニ歸ル、送車數千両、膺慨泰ト同舟ニメ、濟ル、衆賓之ヲ

神仙ノ如シ當
時ノ名士膺泰
ヲ仰慕スルノ
甚シキヲ言フ
箕踞^{ナリ}兩足ヲ舒
展^ノ坐スルヲ
箕舌ノ如キナ
リ通鑑ニ夷踞
ニ作ル註ニ夷
夷ハ平路ハ蹲
ナリ危坐^{尻ヲ}
以テ蹠ニ著テ
坐スルナリ^觀
飯ヲ炊ク器ナ
リ有道ニ器ヲ
ル有司有道ヲ
以テ泰カラ稱
ス泰就カス^舉
象乾ハ天ナリ

望ム、神仙ノ如シト云フ、容、年四十餘、
野ニ畊ス、雨ニ遇フ、樹下ニ避ク、衆皆
ナ箕踞ス、容獨危坐ノ愈恭シ、泰見テ
之ヲ異トス、遂ニ勸テ學ハシム、鉅鹿
ノ孟敏、甌ヲ荷テ地ニ墮ス、顧ス、去
ル、泰見テ之ヲ問フ、對テ曰ク、甌已テ
ニ破タリ、之ヲ視ル、何ノ益アラシ
ト、泰亦勸テ學ハシム、自餘泰カ樊進
ニ回テ、名ヲ成ス者甚ク衆シ、泰有道
ニ舉レ、氏、就カズ、曰ク、吾レ夜ハ乾象
ヲ觀テ、晝ハ人事ヲ察ス、天ノ瘳スル

鷹鷗^{左傳}李孫
行父曰ク、君ニ
無礼ナル者ヲ
見テ、之ヲ誅ス
鷹鷗ノ鳥雀ヲ
逐カ、如キナリ

所ハ、文フ可ラサルナリト、陳留ノ仇
香、名ハ覽、年四十、蒲亭ノ長ト為ル^{蒲亭}
邑、汴梁ニ屬ス、漢、秦ニ曰テ、大率十里
ニ一亭、々々ニ長アリ、以テ盜賊ヲ禁ス
民ニ陳元ト云モノアリ、母、元カ不孝
ヲ告ク、香、親ラ其ノ家ニ到リ、為ソニ
人倫ヲ陳フ、感悟ノ卒ニ孝子トナル、
考城ノ令^{考城}縣、睢王、奐、香ヲ署ソ主
簿ト為ス^{主簿}官、縣治ノ非違ヲ謂テ
曰ク、陳元、罰セス、之ヲ化ス、鷹鷗ノ
志少キ無キラ得ンヤト、香カ曰ク、以
為ラク、鷹鷗ハ鸞鳳ニ若カスト、奐、方

百里時為兵縣
 令ト為ル故ニ
 自ラ百里ト稱
 ス資道ノ財ニ
 貴ヲ助テ之ニ
 与フ常ニ自ラ
 守ル間達ヲ求
 ノズ徴辟ニ應
 セス查學既ニ
 畢リ仕ヘス入
 テ家ニ卒ス入
 望人ノ徳望
 之ヲ受ク人
 トニ各ク一錢
 フ選ヒ取テ餘
 ハ皆ナ受ケズ

曰久、枳棘ハ鸞鳳ノ栖ム所口ニ非ス、
 百里ハ、大賢ノ路ニ非ラスト、乃テ香
 ニ資メ、太學ニ入ラシム、常ニ自ラ守
 ル、泰、房ニ就テ之ヲ見ル、起テ牀下ニ
 拜メ、曰久、君ハ泰カ師ナリト、徵辟ニ
 應セスノ卒ス○黃瓚ヨリ以來、三公
 揚秉劉寵ノ如キ、皆ナ人望ナリ、寵嘗
 テ會稽ニ守タリ、郡大ニ治マル、徵サ
 ル、五六ノ老叟アリ、山谷ノ間ヨリ出
 ツ、人コトニ百錢ヲ贖テ之ヲ送テ曰
 久、明府車ヲ下ル以來、狗夜吠ヘス、民



父老劉寵ヲ奉送スル圖

吏ヲ見ス、今マ聞ク、當サニ棄テ去ル
 ヘシ、故ニ自ラ扶テ奉送スト、寵カ曰
 久、吾カ政何ソ能ク公ノ言ニ及ハン
 ヤ、父老ヲ勤苦スト、為メニ人コトニ
 一大錢ヲ選テ之ヲ受ク、後入テ司空
 ト為ル、秉、朝ニ立テ正直ナリ、寡欲、嘗
 リテ酒色財ナリト感ア、河南ノ尹ト為ル、
 時ニ嘗テ宦官ニ忤フヲ以テ罪ヲ得
 タリ、後太尉ト為ル、以テ卒ス、陳蕃、東
 ニ繼テ太尉ト為ル、數李膺ヲ言ノ以
 テ司隸校尉ト為ス、宦官之ヲ畏テ皆

風裁 猶風彩ト同
言カコトシ 龍門正義ニ曰
久龍門山同 韓城縣ノ北五
十里ニアリ 奇云ク禹河
ヲ鑿リ通スル 處廣サ八十
一説魚ヲ以テ 喻ヲ為スナリ
龍門ハ河水ノ 下ル所ノ名ナ
リ三秦記ニ河 津一ノ名ハ龍
門水險ニハ通 セス魚鼈ノ屬
能ク上ルナシ 江海ノ大魚數
千龍門ノ下ニ 薄集シ上ルヲ

ナ鞠躬ノ氣ヲ屏テ、敢テ官省ヲ出テ
ス、時ニ朝廷綱紀頽弛ス、膺獨リ風裁
ヲ持ス、聲名ヲ以テ自ラ尚ス、士其ノ
容接ヲ被ル者アレハ、名ツケテ登龍
門ト為ルト云○劉寬ヲ以テ尚書令
ト為ス、寬嘗テ三郡ヲ歷典ス、仁恕多
シ、吏民過アレハ、蒲鞭ヲ以テ之ヲ罰
ス〔三郡〕司州ノ内史ヨリ、東海ノ太
初ノ上、侯タリシトキ、學ヲ甘陵ノ周
福ニ受ク〔甘陵〕後漢ノ桓帝紀ニ曰ク、
為甘陵ト即位ニ及テ、擢テ、尚書ト為

得ス、上レハ則
ヲ能ト為ル
〔譏揣〕隙ヲ成ス
其ノ輕重長短
ヲ度量ノ譏揣
ヲ為以ナリ

ス、時ニ同郡ノ房植、名アリ、郷人謠テ
曰ク、天下ノ規矩ハ、房伯武、師タルニ
目テ印ヲ獲ルハ、周仲進ト〔伯武〕植カ
字カニ家ノ賓客互ニ相譏、繡ノ隙ヲ成
ス、是ニ由テ、甘陵南北ノ部アリ、黨人
ノ議、此ヨリ始マル、汝南ノ太守宗資
范滂ヲ以テ功曹ト為ス、南陽ノ太守
成瑨、岑晷ヲ以テ功曹ト為ス、皆ナ善
ヲ褒シ、違ヲ糾ス、滂尤モ剛勁ニシテ惡
ヲ疾ム、雖ノ如シ、二郡謠テ曰ク、汝南
ノ太守ハ、范孟博〔孟博〕滂カ字、言ハ、汝

強禦 強梁 善ヲ
禦クナリ 減否
人ノ善ヲ言フ
ヲ減ト日フ人
ノ惡ヲ言フ人
否ト日フ

南陽ノ太守ノ權ニ倣ヘ南陽ノ宗資畫諾
ヲ主トル宗資ハ南陽郡ノ人ナリ畫
ナリ漢ノ時長官屬吏ニ批荅スルノ制
南陽ノ太守ハ岑公孝カ字暉弘農ノ
成瑨ハ但坐嘯スト郡人ナリ農太學
ノ諸生三萬餘人郭泰賈彪之力冠夕
リ陳蕃李膺ト更々相ヒ推重ス學中
語シテ日久天下ノ模楷ハ李元礼元
膺カ強禦ヲ畏レス陳仲舉ト力字蕃
是ニ於テ中外風ヲ承ク競テ減否ヲ
以テ相尚フ會成瑨ト太原ノ守劉瓚

案殺云々 瑨殺
邑ノ富賈張汎ヲ殺
宮中官ヲ恃ミ
用勢縱橫瓚晉
陽ノ趙津晉陽殺
ス小黃門晉陽
ノ趙津貪橫放
恣官制ニ踰
侯覽官ヲ破ル
徐橫官ノ家屬
官人ヲノ上
書セシム

ト赦ノ後ニ於テ官者ノ黨ヲ案殺ス
徵ノ獄ニ下ル將サニ棄市セントス
山陽ノ守翟超山陽郡淮東屬張儉
ヲ以テ督郵ト為ス官官ノ制ニ踰ル
冢宅ヲ破ル東海ノ相黃浮東海王名
恭王疆ノ後亦官官ノ家屬法ヲ犯セ
ル者ヲ收テ之ヲ殺ス官官寛ヲ訴フ
皆ナ罪ヲ得ル蕃屢之ヲ諍フ上聽力
ス官官人ヲ上書セシメ李膺ヲ告
久太學ノ遊士ヲ養ヒ共ニ部黨ヲ為
シ朝廷ヲ誹訕シ風俗ヲ疑乱スト上

卷之五 東漢 桓帝 三

〔逮捕〕逮ハ其ノ
人存ス直ニ其ノ
ヲ追取ル捕ハ
其ノ人亡ス當
サニ之ヲ討獲
スヘシ〔案〕三府
ナリ孝驗ヲ以
テ義ト為ス三
府ハ三公ノ府
署シ肯セシ名
ヲ救尾ニ書シ
肯セス〔策免〕託
スルニ蕃ノ辟
召ハ人ニ非ス
ト云ヲ以テ詔
ス其ノ官ヲ免

震怒シ、郡國ニ下メ、黨人ヲ逮捕ス、案
三府ヲ經リ、蕃、郤ケテ署シ肯セス、上、
愈怒ル、膺等ヲ北寺ノ獄ニ下ス〔北寺
黃門ニ辭、杜密、陳寔、范滂等二百餘人
ニ連ル、使者ノ追捕四ニ出ツ、蕃又極
諫ス、上、策ノ之ヲ免ス、朝廷震慄ス、敢
テ復夕黨人ノ為メニ言フ者ナシ、賈
彪カ曰ク、吾レ西行セスンハ大難解
ケスト、乃チ洛陽ニ入テ、皇后ノ父竇
武ニ説テ、上疏ノ之ヲ解ク、膺等獄辭
ス、又多ク官者ノ子弟ヲ引ク、宦官乃

〔禁錮〕其ノ仕進
ノ路ヲ禁止錮
塞スルナリ

チ懼テ、上ニ白シテ、黨人二百餘人ヲ
赦シ、皆ナ田里ニ帰ラシム、名ヲ三府
ニ書メ、終身ヲ禁錮ス、上、在位二十一
年、改元スル者七ツ、曰ク、建和、々平、元
嘉、永興、永壽、延熹、永康、崩ス、竇皇后解
瀆亭侯ヲ迎ヘ立ツ〔解瀆亭〕安是ヲ孝
靈皇帝トナス

〔孝靈皇帝〕名ハ宏、章帝ノ玄孫ナリ、開
ヲ生ム、開、淑ヲ生ム、淑、長年十二ニシテ即
位ス、竇太后、朝ニ臨ム、竇武、大將軍ト
為シ、陳蕃、太傅ト為シ、天下ノ名賢ヲ

〔詔板〕木簡之ヲ
為ル、長サ尺一

〔梟首〕木ニ懸
ルヲ、梟ト曰フ

〔汚穢〕宦官、事ヲ
用ニ、故ニ汚穢
ト曰フ

徵ス、李膺、杜密等、皆ナ朝ニ列ス、天下
太平ヲ想望ス、蕃武共ニ議ス、宦官國
柄ヲ操美シ、海内ヲ濁乱スルヲ以テ、
奏メ、曹節、王甫等ヲ誅セシト、謀泄ル、
宦者、夜所親ヲ召メ、血ヲ飲テ、共ニ盟
ト、帝ヲ請テ、前殿ニ御セシメテ、詔板
ヲ作テ、王甫ヲ黃門令ニ拜ス、其ノ黨
ヲノ節ヲ持メ、武等ヲ收メ、誣ルニ大
逆ヲ以テス、先ツ陳蕃ヲ執テ、之ヲ殺
ス、武自殺ス、都亭ニ梟首ス、太后ヲ南
宮ニ遷ス、李膺、初メ廢錮セラルト雖

〔標榜〕猶ヲ稱揚
ト言フカコト

モ、士大夫皆ナ其ノ道ヲ高トシ、朝廷
ヲ汚穢トス、更ニ相ヒ標榜ス、稱号ヲ
為シ、竇武、陳蕃、劉淑ヲ以テ三君ト為
ス、言ハ一世ノ宗トフ所ナリ、李膺、荀
昱、杜密、王暢、劉祐、魏朗、趙典、朱寓ヲ八
俊ト為ス、言ハ八英ナリ、郭泰、范滂、尹
勲、巴肅、宗慈、夏馥、蔡衍、羊陟ヲ八顧ト
為ス、言ハ、能ク德行ヲ以テ、人ヲ引ク
ナリ、張儉、翟超、岑晷、苑康、劉表、陳翔、孔
昱、檀敷ヲ八及ト為ス、言ハ、能ク人ヲ
導テ、追宗セララルナリ、度尚、張邈、王孝

〔鈞黨〕相鈞援ノ、以テ黨ヲ為ス。ヲ謂フナリ、集覽ニ、鈞黨ハ、其ノ黨与ヲ相鈞引スルナリ。詔獄天獄ナリ。李杜李膺杜密、皆ナ官者ノ手ニ死スルナリ。其ノ子ノ名字未タ詳ナラズ。

劉儒、胡母班、秦周、蕃嚮、王章ヲ八厨ト為ス、言ハ能ク財ヲ以テ、人ヲ救フナリ。胡母陳蕃、竇武、事ヲ用ユルニ及テ、復タ膺等ヲ擧拔ス、陳竇死ス、膺等復タ廢錮ス、曹節、有司ニ諷シ、諸ノ鈞黨ヲ奏セシム、膺詔獄ニ詣テ、拷死ス、滂捕ニ就ク、母与ニ訣テ曰ク、汝今李杜ト名ヲ齊スルヲ得タリ、死スルモ亦何ソ憾ント、滂跪テ教ヲ受テ、再拜ノ辞ス、其ノ子ヲ顧テ曰ク、吾レ汝ヲノ思ヲ為メント欲スレハ、則チ惡為ス

〔詩〕大雅瞻卬篇
小雅正月篇

可ラス、汝ヲノ善ヲ為メントスレハ、則チ我レ惡ヲ為サスト、言ハ惡ヲ為ナリ。聞ク者之カ為メニ涕ヲ流ス、凡ソ黨人死スル者、百餘人、天下ノ豪傑及ヒ儒學ノ行義アル者、宦官一切ニ指メ黨人ト為ス、其ノ死徒廢錮スル者、又六七百人、郭泰、私ニ痛テ曰ク、詩ニ云ク、人ノ云ニ亡フル、邦國殄瘁スト、漢室滅セシ、但未タ烏ヲ瞻ルニ、爰ニ誰カ屋ニ于テスルヲ知ラサルノミ言ハ、漢必ス滅亡セシ、但未タ將知ラ誰カ為メニ得ラレシ、ト但未タ將知ラ

古文倉頡模ノ
 文字篆史籀カ
 著スル所カ
 程邀カ作ル所
 口待制即チ待
 詔ナリ太学ヲ
 置立ス太学ヲ
 鴻都門内ニ置
 テ以テ諸生ヲ
 教養ス斗筭郡
 細ヲ言フナリ
 管ハ竹器斗ニ
 升ヲ容ル西邸
 ヲ開キ官ヲ賣
 ヲ西園中ニ於
 テ邸舎ヲ開キ
 設テ市店ノ如
 ク一販賣官爵
 フ鬻賣ス賈價
 ニ同シ通鑑ニ
 云クニ千石ハ

ナル秦好テ臧否スト雖モ而氏危言
 覈論ヲ為サス故ニ濁世ニ處ノ而氏
 禍コ、ニ及ハス○諸儒ニ詔ノ五經
 ノ文字ヲ正シ、蔡邕ニ命ノ古文篆隸
 三体ヲ為リ之ヲ書ノ石ニ刻シ太學
 ノ門外ニ立ツ熹平四年、乙卯春三月
 立ツ、觀模寫スル者○六文學ヲ好テ
 車乘、日ニ千餘兩○六文學ヲ好テ
 諸生ノ文賦ヲ能スル者ヲ引キ、並ニ
 鴻都門下ニ待制ス〔鴻都門大學ヲ置
 立ス、諸生皆ナ斗筭ノ小人ナリ、君子
 之ヲ耻ツ○西邸ヲ開キ、官ヲ賣ル、各

二千、四百石
 八、四百石又云
 久公ハ千、萬、卿
 八、五百萬其ノ
 徳ノ次ヲ以テ
 選ニ應スル者
 之ニ半ス、或ハ
 三分ノ一ナリ
 八、心ニ不平
 一、説ニ疑ナリ
 方猶コト將軍ノ

賈アリ、崔烈五百萬ヲ以テ司徒ヲ得
 タリ、其ノ子ニ問フ〔其ノ子〕外議何如
 ト云フヲ以テス、子カ曰ク、人其ノ銅
 臭ヲ嫌フト崔烈、北州九卿ニ名アリ、
 帝ノ初、大尉ト為ル、表紹ト俱ニ兵ヲ
 河ノ起ス、董卓既ニ誅セラル、烈ハ
 東ノ獄ニ付ク、卓既ニ誅セラル、烈ハ
 ノ門及尉乱兵ノ為ニ長安ニ入ル、○鉅鹿
 ノ張角、妖術ヲ以テ教授ス、太平道ト
 号ス、符水ヲ以テ病ヲ療ス、弟子ヲ遣
 ヲ、四方ニ遊ハシメ、輒相誑誘ス、十餘
 年間ニ、徒衆數十萬アリ、三十六方ヲ

渠帥猶言渠魁
機警機関
テ警省スル
リ權數權謀術
ハ其ノ氣力ヲ
任使スルヲ謂
ス快ハ權カヲ
以テ人ヲ挾輔
ルヲ謂フナリ
從兄同祖ヲ從
言ヲ評ト曰フ

置久大方方餘、小方六七千、各渠帥ヲ
立ツ、一時俱ニ起ル、皆ナ黄巾ヲ著ク、
所在燔却ス、旬月ノ間ニ、天下響應ス、
皇甫嵩等ヲ遣ハシ、黄巾ヲ討セシム、
嵩、沛國ノ曹操ト軍ヲ合テ、賊ヲ破ル、
操ノ父嵩、官者曹騰カ養子ト為ル、或
人云ク、夏侯氏ノ子ナリト、操少ノ機
警權數アリ、任俠放蕩ニノ行業ヲ治
メス、汝南ノ許劭從兄靖ト高名アリ、
共ニ鄉黨ノ人物ヲ覈論ス、毎月輒チ
其題品ヲ更ム、故ニ汝南ノ俗ニ月旦

治世云々言ハ
天下治レバ言ハ
テ其ノ方ヲ盡
メ、當世ノ能臣
タルニ過キス、
天下乱レハ、則
チ其ノ智ヲ逞
メ、姦猾ノ智ト
為ルニ足レリ、
蒙求ニ清平ノ
姦賊、乱世ノ英
雄ニ作ル尚書
ノ事ヲ録ス、尚
書省ノ事ヲ總

ノ評アリ、操往テ劭ニ問フテ曰ク、我
レハ何如ナル人ソト、劭答ヘス、之ヲ
劫ス、乃チ曰ク、子ハ治世ノ能臣、乱世
ノ姦雄ト、操喜テ去ル、是ニ至テ賊ヲ
討スルヲ以テ起ル○皇甫嵩、張角ヲ
討ス、角死ス、嵩其ノ弟ト戦フ、破テ之
ヲ斬ル〔第〕張○上崩ス、在位二十二年、
改元スル者、四ツ、曰ク、建寧、熹平、光和、
中平、子弁立ツ、何太后朝ニ臨ム、后ノ
兄大將軍何進、尚書ノ事ヲ録ス、袁紹、
進ニ勸ム、宦官ヲ誅セヨト、太后未夕

誤テ死スル者 官者鬚ナシノ故 二鬚ナキノ男 一誤殺スルニ 及フ、黃帝、鐵經 二、官者、其ノ宗 筋ヲ去テ、其ノ 衝脈ヲ傷ル血 寫テ傷ラズ、皮 膚内ニ結テ、脣 口榮ヘス、故ニ 鬚生セサルナリ 了ハ、曉解ナリ、 其ノ語ノ條ナリ、 ナキノ謂フナリ、 リ遺スナシ遺 失スル所ナシ 協立弁ツテ、

肯セス、紹等畫策シ、四方ノ猛將ヲ召シ、兵ヲ引テ、京ニ向ハシメ、以テ太后ヲ脅ス、遂ニ將軍董軫ノ兵ヲ召ス、卓未夕至ラス、進、宦官ノ為ノニ殺サル、紹、兵ヲ勅メ、諸ノ宦官ヲ捕テ、少長トナク皆ナ之ヲ殺ス、凡ソ二千餘人、鬚ナクソ誤テ死スル者アリ、卓至テ、乱ノ由ヲ問フ、弁年十四、語了ス可ラス、陳留王弟弁ノ答テ遺スナシ、卓、廢立セシト欲ス、紹、可カス、卓怒ル、紹、出奔ス、卓、遂ニ弁ヲ廢ス、陳留王立ツ、是ヲ孝

〔獻帝〕東涯ノ蓋 唐録ニ、綱目ノ 例ニ、漢ノ帝ヲ 例クニ、漢ノ帝 帝ト稱ス、又ハ 帝ト稱ス、又ハ 昭國賢ルカ、文 引論スル所ヲ

〔孝獻皇帝〕名ハ協、九歳ニメ、董卓カ為メニ立テラル、関東ノ州郡、兵ヲ起メ、卓

ヲ討ス、表紹ヲ推メ、盟主ト為ス、卓、洛陽ノ宮廟ヲ燒ク、都ヲ長安ニ遷ス、長沙ノ太守、富春ノ孫堅、長沙ノ太守、乃屬ス、今ノ潭州府ニ兵ヲ起シ、卓ヲ討ス、南陽ニ至ル、衆数万、表術ト兵ヲ合ス、術、紹ト同祖ナリ、皆ナ故ノ太尉表安ノ玄孫ナリ、表氏四世五公、〔五公〕表安、曾孫逢、玄孫紹、術並ニ公位ニ富貴、佗居ル、故ニ四世五公ト曰フ

董卓呂布ヲ怒ル圖



ノ公族ニ異ナリ、絀壯健ニメ威容アリ、士ヲ愛ス、士輻輳ス、術モ亦俠氣ナリ、是ニ至テ、皆ナ起ル、堅、擊テ卓カ兵ヲ敗ル、術、堅ヲ遣ノ荆州ヲ圖ラシム、劉表カ將、黃祖カ步兵ノ為メニ射ラレテ死ス、○司徒王允等、密ニ謀テ卓ヲ誅ス、中郎將呂布、脅カ人ニ過ク、卓之ヲ信愛ス、嘗テ小シク卓カ意ヲ失ス、卓、手ツカラヲ戟ヲ以テ、布ヲ擲ツ、布避テ免ヲ得タリ、允、布ヲ結テ、内應トナス、卓入朝スルトキ、勇士ヲ北掖門

輻輳言ハ車輻ノ奏集ノ之ヲ内向スル如キナリ
 脅カ脅ハ脊骨ナリ
 矛技ナキトキナリ
 鳩ヲ槍ノコトキナリ
 鳩管居ヲ鳩ト為ス、亦夕庫城ト曰フ
 儲ト曰フ、軍糧ヲ儲ト曰フ、五ト曰フ
 山、大陵、入、丘ト曰フ

ニ伏セ〔北掖門〕正門ナリノ之ヲ刺ス、卓、車ヨリ墮テ、大ニ呂布ヲ呼フ、布カ曰ク、詔アツテ、賊臣ヲ討スト、邑ニ應メ、矛ヲ持テ、卓ヲ刺シ、趣カニ之ヲ斬ル、是ヨリ先キ、卓、鳩ヲ郿ニ築キ、穀ヲ積テ、三十年ノ儲ヲ為ス、金銀綺錦奇玩、積一丘山ノ如シ〔郿〕邑、扶風自ラ云フ、事成ラハ、天下ニ擡ラン、成ラスンハ此ヲ守テ以テ老ント、是ニ至テ、屍ヲ市ニ暴ス、卓ノ死スル、蔡邕、聞テ驚歎ス、母ク、邕、謝ソ曰ク、身不忠ト、雖モ、願セクハ首ニ懸シ、足ヲ刑メ、漢史ヲ繼成セク

吏苑ヲ守ルノ
 吏注ヲ注
 關ヲ犯ス天子
 ノ門闕ヲ干シ
 犯ス

○走ル李催郭范等兵ヲ舉テ闕ヲ犯ス王允ヲ殺ス呂布
 兵ヲ舉テ闕ヲ犯ス王允ヲ殺ス呂布
 然久光、曙ニ達スル者数日、卓カ黨
 夕リ、吏、大炷ヲ為リテ、膺中ニ置テ、之
 ヤ、ト、邕、遂ニ能ク久カラシ、紀ヲ滅シ、典ヲナ
 廢ス、其レハ、國ノ典ナリ、善人ハ、國ノ紀
 リ、制後ナカランカ、善人ハ、國ノ紀
 シ、ムト、日、禪、退テ、人ニ告テ、曰、久、王公
 今、國、祚、中、衰、佞、臣、ヲ、後、世、ニ、流、カ、シ、ム、方
 サ、シ、ト、諺、書、ヲ、作、リ、後、世、ニ、流、カ、シ、ム、方
 後、史、ヲ、續、成、シ、曰、久、昔、武、帝、司、馬、遷、ヲ、殺
 曠、世、ノ、逸、才、多、ク、漢、事、ヲ、識、ル、當、サ、レ、
 ン、ト、太、尉、馬、日、禪、允、ニ、謂、テ、曰、久、伯、諧

河東郡、山西、河西、中ニ
 府屬、舒州、淮南、安慶、府屬
 舒州、淮南、安慶、府屬
 ス、今、ノ、安、慶、府、屬
 其ノ父ノ餘、兵、表
 ヲ得、タ、見、ル、ル、
 術ヲ見ルル、術甚
 タ之ヲ奇トシ、
 堅カ餘兵ヲ以、
 テ、策ニ還シ、表
 ナメ、懷、義、校、尉
 ス

轉連ナリ

帝ノ中山、靖王勝ノ後ヨリ出ツ、景
 第、六、子、以下、世、次、大、志、ア、ツ、テ、語、言、少
 未、タ、詳、ナ、ラ、ス、大、志、ア、ツ、テ、語、言、少
 シ、喜、怒、色、ニ、形、サ、ス、河、東、ノ、関、羽、涿、郡
 ノ、張、飛、備、ト、相、善、シ、備、起、ル、二、人、之、ニ
 從、フ、○、孫、堅、ノ、子、策、弟、權、ト、富、春、ニ、留
 ル、舒、ニ、迂、ル、堅、死、ス、ル、ト、キ、策、年、十、七、
 往、テ、表、術、ヲ、見、ル、其、ノ、父、ノ、餘、兵、ヲ、得
 タ、リ、策、十、餘、歳、ノ、時、已、テ、ニ、交、結、メ、名
 ヲ、知、ラ、ル、舒、人、周、瑜、策、ト、同、年、亦、英、達、
 夙、成、是、ニ、至、テ、策、ニ、從、テ、起、ル、策、東、ノ
 方、江、ヲ、渡、リ、轉、鬪、ス、向、フ、所、口、敢、テ、其

卷五

史記集解卷五

東漢 獻帝

三

〔魂魄〕游氣ヲ、魂ト為ス、清爽ヲ、魄ト為ス

〔治〕治所ナリ

ノ鋒ニ當ル者ナシ、百姓、孫郎カ至ルト聞テ、皆ナ魂魄ヲ失ス、至ル所口一モ犯ス所ナシ、民皆ナ大ニ悦フ○初ノ曹操、卓ヲ討スル時ヨリ、滎陽ニ戦ヒ、還テ河内ニ屯ス、尋テ東郡ノ太守ヲ領ス、東武陽ヲ治ス〔東武陽〕東邑也ニノ兖州ニ入り、之ニ據ル、自ラ刺史ヲ領ス、使ヲ遣ハシ、上書ス、以テ兖州ノ牧ト為ス、〔兖州〕九州ノ一、上、洛陽ニ還ル、操、入朝ス、上ヲ許ニ遷ス〔許州〕河南屬ス、即穎○操、擊テ呂布ヲ殺ス、初ノ布

〔噬〕食ナリ

関中ヨリ、袁術ニ出奔ス、又袁紹ニ帰ス、已テニソ又去ル、操カ為メニ攻ラレ、走テ劉備ニ帰ス、尋テ又備ヲ襲フテ下邳ニ據ル、備、走テ操ニ帰ス、備ヲメシム、徐州ノ牧タランヲ求ム、得ス登、還テ布ニ謂テ曰ク、登、曹公ヲ見テ言ク、將軍ヲ養ハ、虎ヲ養フカ如シ、當サニ其ノ肉ニ飽カシムヘシ、飽カサレハ則チ人ヲ噬ント、公ノ曰ク、然ラス、譬ハ、鷹ヲ養カ如シ、饑レハ則チ人

颺風ノ飛揚ス
名字之ニ應ス
術自ラ已レカ
名ハ術ノ字ハ公
路皆ナレテ塗
ナルヲ以テ故
ニ云フ名字之
ニ應スト

ニ附久飽々ハ則チ颺リ去ルト、布復
夕備ヲ攻ム、備走テ復夕操ニ歸ス、操
布ヲ撃テ下邳ニ至ル、布屢戰テ皆ナ
敗ル、困迫メ降ス、操之ヲ縛メ曰久、虎
ヲ縛スルハ急ナラサルヲ得スト、卒
ニ之ヲ縊殺ス、備操ニ從ヒ許ニ還ル
○表術初メ南陽ニ據ル、已テニメ壽
春ニ據ル、識ニ漢ニ代ル者ハ塗ニ當
テ高シト言ヲ以テ、自ラ云フ、名字之
ニ應スト、遂ニ帝ト稱ス、淫侈甚シ、既
ニメ資實空虚ナリ、自立スル能ス、表

還仍テ壽春ニ
歸ル

衡秤ナリ、言ハ
天下ト強弱ヲハ
争フ、猶ホ輕
重ヲ商ル者ノ
衡ノ低昂ヲ争
フカコトキナ
リ、兩陣彼此對
敵ス、故ニ兩陣
ト曰フ

紹ニ奔ラント欲ス、操劉備ヲ遣ハシ、
之ヲ邀ヘシム、術走リ還テ血ヲ歐テ
死ス○孫策既ニ江東ヲ定メ、許ヲ襲
ハント欲ス、未夕發セス、故ト殺ス所
ノ吳郡ノ守許貢カ奴吳郡今浙江府
其ノ出テ獵スルニ曰テ、之ヲ射ル、創
甚シ、弟權ヲ呼テ代テ其ノ衆ヲ領セ
シメテ曰久、江東ノ衆ヲ舉テ、機ヲ兩
陣ノ間ニ決シ、天下ト衡ヲ争ハシ、
ハ卿我ニ如カス賢ニ任シ、能ヲ使ヒ、
各其ノ心ヲ盡メ、以テ江東ヲ保シ、

使君同輩彼此
相稱、使君ト
曰フ

簡ヲ失ス備
操ノ其ノ英雄
ヲ知ルヲ以テ
トスルヲ懼ル
故ニ驚テ比簡
ヲ失ス

ハ、我レ御ニ如カスト、卒ス、年二十六
○表、紹、冀州ニ據ル、精兵十萬、騎一萬
ヲ簡ス、諸ヲ攻ント欲ス、沮授、諫テ曰
久、曹操天子ヲ奉メ以テ天下ニ令ス
今、兵ヲ舉テ南ニ向ハ、義ニ於テ
則チ違ハ、竊ニ公ノ為メニ之ヲ懼
ルト、紹、聽カス、操、紹ト官渡ニ相拒ム
「官渡」東ニアリ武、襲テ詔カ輜重ヲ破ル、
紹カ軍大ニ潰ニ、慚憤メ血ヲ歐テ死
ス○車騎將軍、董承、密詔ヲ受ルト稱
メ、劉備ト曹操ヲ誅セントス、操一日

曹操劉備ニ語ル圖



從容トノ備ニ謂テ曰ク、今マ天下ノ
英雄唯使君ト操トノミナリト、備食
スルニ方リ、比簡ヲ失ス、雷ノ震フニ
値テ詭キ曰ク、聖人云ス、迅雷風烈必
ス變スト、良ニ以アルナリト、備、既ニ
遣ヲ被テ、表術ヲ邀ス、曰テ徐州ニ之
キ、兵ヲ起メ、操ヲ討ス、操、之ヲ擊ツ、備、
先ツ冀州ニ奔ル、兵ヲ領メ、汝南ニ至
ル、汝南ヨリ、荊州ニ奔ル、劉表ニ歸ス、
嘗テ表カ坐ニ於テ、起テ廁ニ至ル、還
テ慨然トノ涕ヲ流ス、表、怪シテ之ヲ

三顧ノ圖



問フ、備ノ曰久常時身鞍ヲ離レス、驛
 肉皆ナ消ス、今日復夕騎ラス、驛裏肉
 生ス、日月流ル、カ如シ、老将サニ至
 ラントス、功業建ス、是ヲ以テ悲ムノ
 ミト、瑯琊ノ諸葛亮、襄陽ノ隆中ニ寓
 居ス、〔襄陽〕府、河南ニ屬ス、即チ南陽毎
 郡〔隆中〕地ノ名、襄陽ニアリ
 ニ自ラ管仲樂毅ニ比ス、備、士ヲ司馬
 徽ニ訪フ、徽カ曰久時務ヲ識ル者ハ、
 俊傑ニアリ、此ノ間自ラ伏龍鳳雛ア
 リ、諸葛孔明、龐士元ナリト、〔孔明〕亮
 カ字、徐
 庶モ亦夕備ニ謂テ曰久、諸葛孔明ハ

天府ノ主財貨
 ノ出ル所、口、天
 ノ府ノ如シ、軍
 ノ食、葷ハ、竹器ナ
 リ、食ハ、飯ナリ

卧龍ナリト、備三夕ニ往テ、乃チ亮ヲ
 見ヲ得タリ、策ヲ問フ、亮カ曰久、操百
 万ノ衆ヲ擣シ、天子ヲ挾テ、諸侯ニ令
 ス、此レ誠ニ与ニ鋒ヲ争フ可ラス、孫
 權ハ江東ニ據リ有ツ、國險ニノ民附
 ク与ニ援ヲ為スヘシ、而ソ圍ル可ラ
 ス、荊州ハ、武ヲ用ルノ國ナリ、益州ハ、
 險塞、沃野千里、天府ノ土ナリ、若シ荆
 益ヲ跨有シ、其ノ巖阻ヲ保テハ、天下
 變アラハ、荊州ノ軍、宛洛ニ向ヒ、益州
 ノ衆、秦川ニ出テハ、孰カ、〔孰カ〕
 〔食壺〕 食壺衆ハ

〔從子〕姪ヲ、從子ト曰フ

以テ將軍ヲ迎ヘサラシヤト〔秦川〕水、京兆
 嶺ノ東南ニ出備ノ曰ク善シト、亮ト
 テ漢ニ入ルニ密ナリ、曰ク孤ノ孔明アル
 情好日ニ密ナリ、曰ク孤ノ孔明アル
 ハ猶ヲ魚ノ水アルカコトキナリト、
 士元、名ハ統、龐徳公ノ從子ナリ、徳公、
 素ヨリ、重名アリ、亮、每ニ其ノ家ニ至
 ル、獨リ林下ニ拜ス○曹操、劉表ヲ擊
 ツ、表卒ス、子琮、荊州ヲ舉テ、操ニ降ル、
 劉備、江陵ニ奔ル〔江陵〕府、湖北ニ
 ヲ追ス、備、夏口ニ走ル〔夏口〕地、江
 操、軍ヲ江陵ニ進メ、遂ニ東ニ下ル〔夏〕
蜀。

〔會獵〕將サニ合
ヲ言フ

志ニ先主曹公ノ卒至ルト聞テ、妻子
 フ棄テ走ル、飛ヲノニ拒カシム、飛、水ニ
 フ拒ラシム、飛、水ニ拒カシム、飛、水ニ
 翼、徳ナリ、来リ共ニ死ラ決スハ是レ、張
 敵、皆ナ敢テ近ツク者ナシ、故ニ免ル
 タリ得亮、備ニ謂テ曰ク、請フ、救ヲ孫
 將軍ニ求ント、亮、權ヲ見テ、之ニ説ク、
 權、大ニ悦フ、操、權ニ書ヲ遺テ曰ク、今
 マ水軍八十万衆ヲ治ム、將軍ト吳ニ
 會獵セント、權、以テ群下ニ示ス、色ヲ
 失セサル者ナシ、張昭、之ヲ迎ヘント
 請フ、魯肅、以テ為ラク不可ナリト、權ヲ
 勸テ、周瑜ヲ召サシム、瑜至ル、曰ク、請

保保證ナリ
案凡ソ
表奏皆ナ
陳之ヲ省
逆ト迎ヘ
船四日方
シ以テ板
ク状ナテ
キヲ艦ト
〔蒙衝〕船
ス以テ蒙
衝突スル
通典ニ蒙
牛皮ヲ以
ノ覆背ヲ
西廂ニ掣
孔ヲ開ク
左右ニ掣
穴アリテ
クアリテ

フ、数万ノ精兵ヲ得テ、進テ夏口ニ往
キ、保ノ將軍ノ為ノニ、之ヲ破ラント、
權、刀ヲ拔キ、前ノ奏案ヲ斫テ曰ク、諸
ノ將吏、敢テ操ヲ迎ヘント言ハン者
ハ、此ノ案ト同カラント、遂ニ瑜ヲ以
テ三万人ヲ督セシメ、備トカラ并セ、
操ヲ逆ス、進テ赤壁ニ遇フ〔赤壁〕山、武
縣ノ西、北瑜カ部將、黄蓋カ曰ク、〔黄蓋〕
ニ操カ軍方サニ船艦ヲ連ヌ、首尾相
覆ス、燒テ走ラス可キナリト、乃蒙衝
接ス、燒テ走ラス可キナリト、乃蒙衝
關艦十艘ヲ取テ、燥菽、楫、檣ヲ載テ、油

敗ル能ハス
ス疾速ヲ務
人ノ及ハサル
二乗サレナリ
二非サルナリ
〔閩艦〕船
三尺ハケ、高
下ニ掣カ、内
尺又開キ、船
ノ上ニ又齊シ、
女牆ト樹テ、
戰敵ヲ上ニ列
背ナク、前後
右ニ牙旗、左
金鼓ヲ樹ツ、
舟通典ニ、走
ハ、舷上ニ、女

ヲ其中ニ灌キ、帷幔ヲ褰テ、上ニ旌旗
ヲ建テ、豫シノ走舸ヲ備テ、其ノ尾ニ
繫キ、先ツ書ヲ操ニ遺ル、詐テ降ラシ
ト欲スト為ス、時ニ東南ノ風急ナリ、
蓋、十艘ヲ以テ、最モ前ニ著ケ、中江ニ
帆ヲ舉ク、餘船、次ヲ以テ、俱ニ進ム、操
カ軍、皆ナ指シ言フ、蓋降スト、去ルニ
里餘、同時ニ火ヲ發ス、火烈シク風猛
ク、船ノ往コト箭ノ如シ、北船ヲ燒
盡ス、烟焰天ニ漲ル、人馬溺燒シ、死ス
ル者甚ク衆シ、瑜等、輕銳ヲ率ヒ、雷鼓

ヲ立ツ、棹夫ヲ置ク多ク、戰卒少シ、皆ナ勇カ、精銳ノ者ヲ選、往反飛鷗ノ如シ、人ノ及ハ、サシ、乘ス、金、鼓旗幟之ヲ上、ニ列ス、此レノ船名ヲ、艘ト曰フ、總名ヲ、艘ト曰フ、通ス、水、與、蛇、能ク、テ、四、足、ア、リ、以テ、人ヲ、害ス、ル者、ナリ、集、覽、ニ、梟、ハ、勇、健、ナリ、雄、ハ、武、備、ナリ、仲、馬、曰ク、梟、ハ、能ク、闘、ラ、ク、梟、ヲ、謂フ、ナリ、辭、阿、突、語、ノ、辭、

黃蓋曹操軍ヲ赤壁ニ破ル圖



ノ大ニ進ム、北軍大ニ壞ル、操、走テ還ル、後チ屢兵ヲ權ニ加フ、氏志ヲ得ス、操、歎息ノ曰ク、子ヲ生マハ、當サニ孫仲謀ノ如クナルヘシ、向者ノ劉景昇カ兒子ハ豚犬ナルノミト、仲謀權カ、字、景、瑜、權ニ上、疏ノ曰ク、備ハ梟雄ノ姿アリ、而ノ関羽張飛アリ、熊虎ノ将ナリ、此ノ三人ヲ聚メ、疆場ニ在リ、恐クハ蛟龍雲雨ヲ得テ、終ニ池中ノ物ニ非サルナリ、宜ク備ヲ徙メ、吳ニ置ク

ヘシト、權、從ハス、瑜方サニ北方ヲ圖ラシメ、議ス、會病テ死ス、魯肅代テ其ノ兵ヲ領ス、肅、權ニ勸メテ、荆州ヲ以テ、劉備ニ借サシム、權、之ニ從フ、權カ將、呂蒙初ノ學ハス、權、蒙ヲ勸メ、書ヲ讀マシム、魯肅、後蒙ト論議ス、大ニ驚テ曰ク、卿ハ復夕吳下ノ阿蒙ニ非ラズト、蒙カ曰ク、士、別レテ三日ナラハ、即チ當サニ目ヲ刮テ相ト待ツヘシト、通鑑ニ、權、蒙ニ謂テ曰ク、卿、今マ、金、ハ、當リ、事ヲ掌ト、學ハス、ハ、ハ、軍中多務ヲ、以テ、ハ、權曰ク、蒙、豈ニ、卿、カ、經、ヲ、治、

晉書

東漢 獻帝

卷五

近流ニ逆テ而
上ル

引テ流ニ引沂沂ル、巴ヨリ蜀ニ入ル、劉璋
 備、関羽ヲ留テ、荊州ヲ守ラシメ、兵ヲ
 乃チ其ノ驥足ヲ展ルヲ得シノミト
 〔治中別駕漢制、治中、刺史ニ從ヒ、部ヲ
 行ク、別駕、一乘ノ傳車ニ乘ス、故ニ
 別駕ト云フ〕備、之ヲ用ニ、益州ヲ取
 魯肅備ニ書ヲ遺テ曰ク、士元、公百里
 才ニ非ラス、治中別駕タラシメハ
 未陽ノ令ト為ス〔未陽、縣、衛治マラス、
 州ニ屬ス〕
 魯肅備ニ書ヲ遺テ曰ク、士元、公百里
 才ニ非ラス、治中別駕タラシメハ
 乃チ其ノ驥足ヲ展ルヲ得シノミト
 〔治中別駕漢制、治中、刺史ニ從ヒ、部ヲ
 行ク、別駕、一乘ノ傳車ニ乘ス、故ニ
 別駕ト云フ〕備、之ヲ用ニ、益州ヲ取
 備、関羽ヲ留テ、荊州ヲ守ラシメ、兵ヲ
 引テ流ニ引沂沂ル、巴ヨリ蜀ニ入ル、劉璋

ヲ襲ヒ、成都ニ入ル、備、既ニ益州ヲ得
 タリ、孫權、人ヲメ備ニ從テ、荊州ヲ求
 メシム入諸備、肯テ還サス、遂ニ之ヲ
 争フ、已テニメ荊州ヲ分ツ備、蜀ヨリ
 漢中ヲ取ル、自立メ漢中王ト為ル、漢
 中ノ將、関羽、江陵ヨリ出ツ、樊城ハシヤヲ攻
 メ、襄陽ヲ取ル、許ヨリ以南、往々遙ニ
 羽ニ應ス、威、華夏ニ震フ〔樊城、縣、襄陽
 中國文明、故ニ曹操、許都ヲ徙メ、以テ
 華夏ト曰フ〕
 其ノ鋒ヲ避ント議スルニ至ル、司馬懿
 懿カ曰ク、備ト権ト、外親メ内疎ナリ、

狼狽、狼、狼、或、屬、子、足、欲、ス、ク、行、ニ、ト、必、ス、レ、ハ、則、チ、必、ス、レ、ハ、相、附、ス、而、メ、後、ヲ、動、ク、其、ノ、一、ヲ、失、ハ、コ、ト、能、ハ、其、ノ、一、ヲ、行、ク、ハ、サ、ル、コ、ト、能、ハ、故、ニ、謂、フ、テ、狼、措、ヲ、失、フ、テ、狼、狼、ト、曰、ク、前、ノ、一、ニ、足、短、シ、狼、ノ、一、ニ、メ、行、ク、狼、ノ、一、ニ、ハ、ハ、サ、ル、コ、ト、能、ハ、ト、未、タ、孰、レ、ナ、リ、是、ナ、ル、ヲ、詳、ニ、セ、ス

関羽、志ヲ得ルハ、權必ス願ハサルナリ、人ヲ遣ハシ、權ニ勸メテ、其ノ後ヲ躡セシム可シ、江南ヲ割テ、以テ權ヲ封セント許セト、操之ニ從テ、時魯肅已テニ死セリ、呂蒙之ニ代ル、亦夕權ヲ勸メ、羽ヲ圍ル、操カ師、樊ヲ救フ、權カ將陸遜、又羽カ後ヲ襲ス、羽、狼狽メ、走り還ル、權カ軍、羽ヲ獲テ之ヲ斬ル、遂ニ荆州ヲ定ム○初、曹操、兗州ノ牧ヨリ入テ丞相ト為リ、冀州ノ牧ヲ領ス、魏公ニ封セラレ、銅雀臺ヲ鄴

禪讓ナリ、通鑑ニ、建安二十五年、正月、魏王操卒ス、帝、華歆ノ太子ト為ス、綏ヲ授ケシム、王、后、ト尊テ、王、后、ト為シ、又改元メ、禪讓ト曰フ、乃

ニ作ル、已テニノ爵ヲ進メ、王ト為ル、天子ノ車服ヲ用ユ、出入ニ警蹕ス、子丕ヲ以テ王太子ト為ス、操卒ス、丕立ツ自ラ丞相冀州ノ牧ト為ル、魏ノ群臣言ヘリ、魏當サニ漢ニ代ルヘシト、丕、遂ニ帝ニ迫テ位ヲ禪ラシム、帝ヲ以テ山陽公ト為ス、帝、在位改元スル者三ツ、曰ク、初平、興平、建安、元年ヨリ二十五年ニ至ルマテハ、則チ曹操、政ヲ為ス時ナリ、共ニ三十一年、位ヲ禪テ又十四年ニノ卒ス、漢、高祖元年ニ

一國源流以相接
スル者ヲ以テ
云々劉劭提頭
ヲ改正ス乃チ
舊本曾先之叙
ル所ヲ引ク陳
壽西晉ノ人ナ
リ魏吳蜀三國
志ヲ撰ス少微
通鑑宋ノ少微
江氏名ハ賈通
鑑節要ニ十卷
ヲ修ス劉劭明
ノ人ナリ少微
宋元ノニ鑑ヲ
纂修ス

王ト為リ、五年ニ帝ト為リシヨリ、是
ニ至ル、二十四世、四百二十六年

○三國

○漢 漢中王トヨリ漢中ヲ取テ自立
ク、國号ヲ後漢ト曰フ、都ス、又
蜀、漢ト曰フ、成都ハ、都ス、
魏、吳ニ僭國ヲ附ク、後魏ハ、都
吳、八、建業ニ都ス、曾氏ノ陽都
下、一、統、業ニ都ス、曾氏ノ陽都
其、一、編、集、代、ノ、先、後、ニ、恐、ル、初、學、ノ、一、國、天
但、一、ノ、國、源、流、ノ、相、同、時、ル、者、ヲ、以、テ、提
頭、ト、為、レ、ス、而、曾、氏、ハ、陳、壽、ノ、舊、附、ス、仍
ル、魏、ヲ、以、テ、帝、ト、稱、シ、陳、漢、吳、ノ、舊、附、ス、仍
劉、劭、既、ニ、以、テ、帝、ト、稱、シ、陳、漢、吳、ノ、舊、附、ス、仍
而、劭、少、微、通、鑑、ヲ、綱、目、ノ、義、例、ニ、遵、テ、此

其ノ手垂ル云々
及ト耳ノ大ナリ

昭烈皇帝 諱ハ備、字ハ玄德、漢ノ景帝ノ
子、中山靖王勝ノ後ナリ、大志アリ、言
語少シ、喜怒形レズ、身ノ長ケ七尺五
寸、手ヲ垂レハ膝ニ下ル、顧レハ自ラ
其ノ耳ヲ見ル ○蜀中傳言不曹丕篡
立シ、帝、已テニ害ニ遇フト是ニ於テ、
漢中王、喪ヲ發シ、服ヲ制シ、謚ノ孝愍
皇帝ト曰フ、夏四月、帝位ニ武擔ノ南
ニ即ク 武擔山ノ名、成大赦ス、章武ト
改元ス ○諸葛亮ヲ以テ、丞相ト為ス、

〔裕祭〕續漢書云、三年一夕、五穀成、以十月、故太祖、骨肉合、太祖、八、法、人、才、以、第、九、品、後、世、如、散、謂、九、品、後、世、如、散、官、九、品、後、世、如、散、十、別、區、別、區、別、分、別、區、別、區、別、陳、吏、部、審、覈、下、士、部、審、覈、ス、ル、能、ハ、サ、ラ、以、テ、故、ニ、郡、國、及、州、置、カ、シ、各、中、正、ヲ、置、カ、シ、人、皆、取、リ、本、土、朝

許靖ヲ司徒ト為ス○宗廟ヲ立テ、高皇帝以下、裕祭ス○夫人吳氏ヲ立テ、皇后ト為ス、子禪ヲ皇太子ト為ス、○魏主丕、姓ハ曹氏、沛國譙ノ人ナリ、父操、魏王ト為ル、丕、位ヲ嗣ク、首ノテ九品人ヲ官ニスルノ法ヲ立ツ、州郡皆ナ九品中正ヲ置テ、人物ヲ區別ス其ノ高下ヲ第ツ、丕、既ニ漢ヲ篡テ、自立ノ帝ト為ル、操ヲ追尊ノ、太祖武皇帝ト為ス、黃初ト改元ス○帝關羽ノ没スルヲ耻テ、自ヲ將トシ、孫權ヲ伐

廷官ニ任ス、徳充才盛ナル者、之ヲ為ス、等級九品、次シ、以テ

ツ、權、和ヲ求レ、氏、許サス、權、使ヲ魏ニ遣ス、魏、權ヲ封メ、吳王ト為ス、魏主、吳ノ使、趙咨ニ問テ曰ク、吳王頗ル學ヲ知ルヤト、咨カ曰ク、吳王、賢ニ任シ、能ヲ使フ、志、經畧ヲ存メ、餘閑アツテ、書史ヲ博覽スト雖モ、書生ノ章ヲ尋テ、句ヲ摘ヲ效ハスト、魏主曰ク、吳、魏ヲ難カルカ、咨カ曰ク、帶甲百萬、江漢ヲ池ト為ス、何ノ難ル之レ有ラント、曰ク、吳、大夫ノ如キ者幾人ノ、咨カ曰ク、聰明特達ノ者、八九十人、臣カ比ノ如

遁逃ナリ

キハ、車ニ載セ、斗モテ量ルモ、勝テ教
 フ可ラスト○帝、巫峽ヨリ、夷陵ニ至
 ルマテ、数十屯ヲ立ツ〔巫峽〕夔州府、巫
 山縣ニアリ
 吳軍ト相拒ム累月、吳ノ將陸遜、其ノ
 四十餘營ヲ連破ス、帝夜遁ル○魏主、
 吳ノ侍子ヲ責ム、至ラス、怒テ之ヲ代
 ツ、吳王、黃武ト改元ス、江ニ臨テ拒キ
 守ル○三年夏四月、帝崩ス、在位三年、
 改元スル者、一ツ、曰ク、章武、謚メ昭烈
 皇帝ト曰フ、太子禪即位ス、亮ヲ封メ
 武鄉侯ト為ス、太子既ニ立ツ、是ヲ後

皇帝ト為ス

〔後皇帝〕名ハ禪、字ハ公嗣、昭烈皇帝ノ子
 ナリ、年十七ニソ即位シ、建興ト改元
 ス、丞相諸葛亮、遺詔ヲ受テ、政ヲ輔久
 昭烈、終ニ臨ミ、亮ニ謂テ曰ク、君カ末
 曹丕ニ十倍ス、必ス能ク國家ヲ安セ
 シ、終ニ大事ヲ定メ、嗣子、輔ク可シ
 ハ、之ヲ輔ケヨ、如シ其レ不可ナラハ、
 君自ラ取ル可シト、亮涕泣メ曰ク、臣
 敢テ股肱ノカラ竭メ、忠貞ノ節ヲ效
 シ、之ニ繼クニ死ラ以テセサランヤ

〔洵〕水ノ負〔漢〕騰

誅セラルル黄初
二年郭貴嬪カ母
氏郭貴嬪カ母
ヲ以テ死ヲ賜

ヲ知ラス、故ニ敗ル、今マ嘗陣ヲ觀ル
クナレ、即テ定テ勝チヤス、此ノ如
ト、亮、之ヲ聞テ、獲テ、縱メ、更ニ戰ハシ
ム、七、縱、七、擒、猶ヲ獲テ、遣ル、獲去ラ
メ、曰ク、公ハ、天威ナリト、南入、復夕反
セス、○魏主、又舟師ヲ以テ、吳ニ臨ム、
波濤ノ洶湧スルヲ見テ、歎メ、曰ク、嗟
乎、固ニ天ノ以テ南北ヲ限ルニヘン
ナリト、○魏主、丕、殂ス、僭位七年、改元
スル者一ツ、黄初ト曰フ、謚メ、文皇帝
ト曰フ、子叡立ツ、是ヲ明帝ト為ス、叡
カ母ハ誅セラル、丕、嘗テ叡ト出テ、

獵ス、子母鹿ヲ見ル、既ニ其母ヲ射ル、
叡ヲノ其子ヲ射ラシム、叡泣テ曰ク、
陛下已テニ其母ヲ殺ス、臣、其子ヲ殺
スニ忍ヒスト、丕、惻然タリ、是ニ及テ、
嗣ト為リ、位ニ即ク、○叡、士、管寧、字ハ
幼安、東漢ノ末ヨリ、地ヲ遼東ニ避ク
ル、三十七年、魏、之ヲ徵ス、乃チ海ニ浮
テ、西ニ帰ル、官ニ拜スレ、氏、受ケス、○
丞相亮、諸軍ヲ率テ、北ノ方魏ヲ伐ツ、
發スルニ臨テ、上疏メ、曰ク、今天下三
分ス、益州疲弊セリ、此レ危急存亡ノ

〔宮中〕禁中、宦官
女子ノ居ル所
幕府、又大臣宰
相ノ居ル所
科政令ノ條ヲ
科ト曰フ

秋ナリ、宜ク聖聽ヲ開張スヘシ、宜ク
忠諫ノ路塞クヘカラス、宮中府中ハ
俱ニ一体タリ、陟罰臧否、宜ク異同ス
ヘカラス、若シ、姦ヲ作シ、科ヲ犯シ、及
ト忠善ノ者アラハ、宜ク有司ニ付テ、
其ノ刑賞ヲ論メ、以テ平明ノ治ヲ昭
ニスヘシ、賢臣ヲ親ミ、小人ヲ遠クル
ハ、此レ先漢ノ興隆セルユヘンナリ、
小人ヲ親ミ、賢臣ヲ遠ルハ、此レ後漢
ノ傾頽スルユヘンナリ、臣本ト布衣、
南陽ニ躬耕シ、性命ヲ乱世ニ苟全シ、

〔不毛〕草木ヲ生
セサルノ地、中
原關中ノ地、土
沃シ物豊ナリ、
故ニ中原ト曰
フ〔舊都〕長安洛
陽

開達ヲ諸侯ニ求メス、先帝、臣カ卑鄙
ナルヲ以テセス、猥リニ自ラ枉屈メ、
臣ヲ草廬ノ中ニ三顧シ、臣ニ諮フニ、
當世ノ事ヲ以テス、是ニ由テ感激ソ
先帝ニ許スニ、驅馳ヲ以テス、先帝、臣
カ謹慎ナルヲ知テ、崩スルニ臨テ、寄
スルニ大事ヲ以テス、命ヲ受テヨリ
以來、夙夜憂懼シ、付託ノ效スアラズ
ノ以テ先帝ノ明ヲ傷ランコトヲ、故ニ
五月、灋ヲ渡リ、深ク不毛ニ入ル〔灋水
ヨリ出テ、東流今南方已テニ定リ、兵
ノ江ニ入ル

〔朝野〕朝野、田野

甲巳テニ足ル、當サニ三軍ヲ獎率シテ、北ノ方中原ヲ定ムヘシ、漢室ヲ興復シ、舊都ニ還ラシ、此レ臣カ先帝ニ報ヒテ、陛下ニ忠アルユヘシノ職分ナリト、遂ニ漢中ニ屯ス。○明年、大軍ヲ率テ、祁山ヲ攻ム。〔祁山〕西和戎陣整齊ニシ、号令明肅ナリ、始メ魏、昭烈既ニ崩シ、數歳ニシテ寂然トシ、間ナキヲ以テ、畧備フル所ナシ、猝ニ亮カ出ト聞テ、朝野恐懼ス、是ニ於テ、天水、安定等ノ郡、皆ナ亮ニ應ス。
〔安定〕陝西ニ屬ス、今ノ涇州

〔節度〕節制法度

關中響ノ震フカ如シ、魏王、長安ニ如ク、張郃ヲシテ拒カシム、亮馬謖ヲシテ諸軍ヲ督サシム、街亭ニ戰フ。〔街亭〕秦州ノ隴城縣、亮カ節度ニ違フ、郃大ニ之ヲ破ル、亮乃チ漢中ニ還ル、巳テニシテ復タ漢帝ニ言テ、曰ク、漢ト賊ト兩立セズ、王業ノ偏安セサルハ、臣鞠躬ノ力ヲ盡シ、死メ而シテ後ニ巳メシ、成敗和鈍ニ至テハ、臣力能ク逆シノ觀ル所ニ非サルナリト、兵ヲ引テ、散關ヨリ出テ、陳倉ヲ圍ム、克タス。〔散關〕鳳州ノ散關、泉縣

〔安堵〕安然ノ驚
堵ノ如クノ驚
動セサルヲ言
人ノ喪冠親ヲ
覽ルキハ亮罰
者ハ必ス以上ノ
臨ムナリ

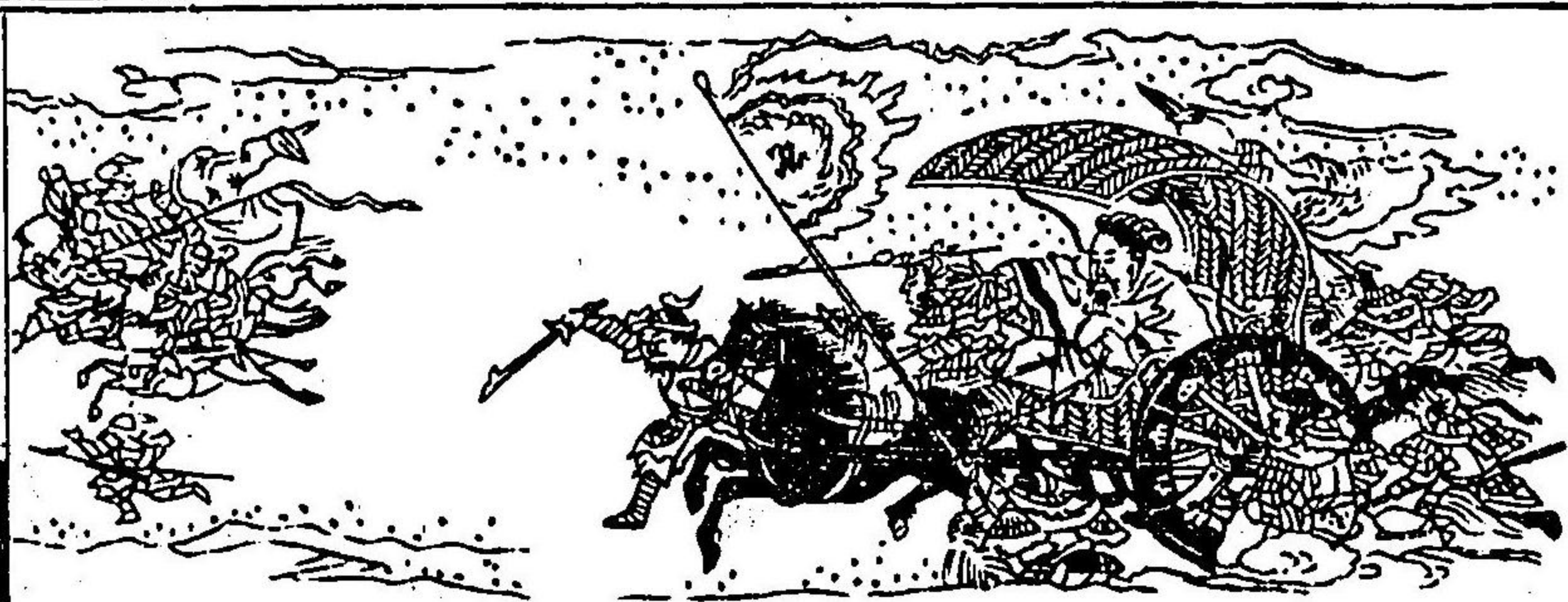
ニ之ヲ用ユ、衆十萬ヲ悉ク、又斜谷ヨリ魏ヲ伐ツ〔斜谷巴興元府ニアリ、梁州記ニ曰ク、南口ヲ、褒ト曰フ、北口ヲ、斜ト曰フ、爲渭南ニ州ノ界ニ至ル、凡ソ斜百五十里、渭南ニ進軍ス、魏ノ大將軍司馬懿、兵ヲ引テ拒守ル、亮前キニハ數出テ皆ヲ運糧繼カスノ、已レカ志ヲ伸サラシムルヲ以テ、乃チ兵ヲ分テ屯田ス、耕ス者渭濱居民ノ間ニ雜ハル、而メ百姓安堵ス、軍私ナシ、亮數懿ニ戰ヲ挑ム、懿出テス、乃チ遺ルニ巾幗婦人ノ服ヲ以テス、亮力使者、懿力軍ニ至ル、懿

〔數升云々〕其ノ
食スル所、三
四合ヲ謂フナ
リ、漢ノ一合、許リハ
今ノ一合許リハ

其ノ寢食、及ヒ事ノ煩簡ヲ問ス、而メ戎事ニ及ハス、使者ノ曰ク、諸葛公、夙ニ興キ、夜ニ寐ヌ、罰二十以上ヲハ、皆ナ親ヲ覽ル、取食スル所ハ數升ニ至ラスト、懿人ニ告テ曰ク、食少ク、事煩シ、其レ能ク久カラシヤト、亮病篤シ、大星アリ、赤ノ芒アリ、亮カ營中ニ墜ツ、未タ幾クナラス、亮卒ス、長史楊儀、軍ヲ整テ還ル、百姓奔テ、懿ニ告ス、懿之ヲ追フ、姜維、儀ヲノ旗ヲ反シ、鼓ヲ鳴シ、將サニ懿ニ向ハントスル若

八陣ノ圖興元府西縣定軍山下ニ在リ、荃蹄ノ之ヲ為ク、天、地、風、雲、龍、虎、鳥、蛇、奇ト為ス

其ノ材長ク云、孔明傳ノ評ニ曰ク、治ヲ識ルノ良才、管、蕭ノ亞ト謂フ可シ云々、蓋シ變ニ應スル將略ハ、其長キ所ニ非ルカト



死セル孔明生ケル仲達ヲ走ラシムル圖

クセシム、懿敢テ逼ラス、百姓之カ為ノニ諺シテ曰ク、死セル諸葛生ケル仲達ヲ走ラシム仲達カ字懿懿笑テ曰ク、吾レ能ク生ヲ料ル、死ヲ料ル能ハスト、亮嘗テ兵法ヲ推演ノ、八陣ノ圖ヲ作ル、是ニ至テ、懿其ノ營壘ヲ案行シ、歎ノ曰ク、天下ノ奇才ナリト、亮政ヲ為ス、私ナシ、馬謖素ヨリ亮カ為ノニ知ラル、敗軍ニ及テ、流涕ノ之ヲ斬ル、而ノ其後ヲ恤ム、李平、廖立、皆ナ亮カ為ノニ廢セラレ、亮ノ喪ヲ聞クニ及

テ、皆ナ歎息ノ流涕ス、卒ニ病ヲ發シ、死スルニ至ル綱目ニ、後主建興九年、梓潼ニ廢徙セラレ、都護李平、罪アリ、云フ、李嚴平ト更名スト、史ニ稱ス、亮、誠心ヲ開キ、公道ヲ布ク、刑政峻シト雖モ、怨ムル者ナシ、真ニ治ヲ識ルノ良才ナリ、而ルヲ其ノ材ノ長ク國ヲ治ムルニ長ク、將畧ハ長キ所ニ非スト謂ハ、非ナリ、初ノ丞相亮、嘗テ帝ニ表ノ曰ク、臣、成都ニ桑八百株、薄田十五頃アリ、子弟ノ衣食、自ラ餘アリ、別ニ生ヲ治テ、以テ尺寸ヲ長セス、

簾鐘鼓ノ横ス
簾ト曰ス、縱ス
鼓ヲ懸ルコトハ
同シノ者又鑿ト

臣、死スルノ日、内ニ餘帛アラシメテ、
外ニ羸財アツテ、以テ陛下ニ貢カズ
ト、是ニ至テ、卒ス、其言ノ如シ、忠武ト
謚ス。○魏主、姓土功ヲ好ム、是ヨリ先
キ、既ニ許昌宮ヲ治ス〔許昌〕邑、許州ニ
屬ス、今ノ長杜
縣後又洛陽宮ヲ作ル、長安ノ鐘簾橐
駝、銅人承露盤ヲ、洛陽ニ徙ス、盤折レ
テ聲數十里ニ聞ス、銅人重ク、致ス可
ラス、乃チ大ニ銅ヲ發シ、銅人ニヲ鑄
リ、司馬門外ニ列坐セシメ、号ノ翁仲
ト曰フ〔司馬門〕宮門ノ外土山ヲ芳林

天和即位二年
改元

園ニ起シ、雜木善草ヲ植ヘ、禽獸ヲ捕
テ、其中ニ致ス、諫者ハ皆ナ納レス。○
魏主、疾アリ、司馬懿ヲ召メ、入朝セシ
ム、曹爽ヲ以テ、大將軍ト為ス、魏主薨
殂ス、僭位十四年、改元スル者三ツ、曰
ク、大和、青龍、景初、子芳立シ、是ヲ廢帝
邵陵〔邵陵〕屬公ト為ス、芳、八歳ニノ即位ス、
司馬懿、曹爽、遺詔ヲ受テ、政ヲ輔ク、懿
太傅ト為ル〔屬公〕史ニ、齊王芳ト稱ス、
帝、養テ太子ト為ス、邵陵ハ晋ノ
封スル所ノ号、屬ハ其謚ナリ。○丞
相亮、既ニ亡ノヨリ、蔣琬、政ヲ為ス、揚

後帝 五十一

憤々心乱ルナ
リ前入諸葛亮
ヲ謂フ

敏、琬ヲ毀テ曰ク、事ヲ作ス、憤々タリ、
前人ニ及ハスト、或人、敏ヲ推治セン
ト請フ、琬曰ク、吾レ實ニ前人ニ如カ
ス、推ス可キナシト、琬卒ス、費禕、董允、
政ヲ為ス、公亮、忠ヲ盡ス、允卒ス、姜維、
費禕ト並ニ政ヲ為ス、○魏ノ曹爽、驕
奢ニシテ度ナシ、司馬懿、之ヲ殺ス、懿、魏
ノ丞相ト為ル、九錫ヲ加レ、氏、受ケス、
爽ノ黨、夏侯霸、蜀ニ奔ル、姜維、之ニ問
テ曰ク、懿、政ヲ得タリ、復タ征伐ノ志
アルヤ否ヤト、羈力曰ク、彼レ家門ヲ

沉廣ナリ

營立ス、未タ外事ニ違フラス、鍾士季
ト云者アリ、鍾會、字ハ、士季、少シト雖
氏、若シ朝政ヲ管ラハ、吳蜀ノ憂ナラ
ント、○魏ノ司馬懿卒ス、其子師ヲ以
テ、撫軍大將軍ト為ス、尚書ノ事ヲ録
セシム、○吳主殂ス、謚ノ太皇帝ト曰
フ、子亮立ツ、○費禕、汎愛ニシテ疑ハス、
降人、之ヲ刺シ殺ス、姜維、事ヲ用ユ、
兵ヲ出シ、魏ヲ攻ム、降人、魏ノ○魏ノ
李豐、數魏主ノ為メニ召サル、司馬師、
其已レヲ議スルヲ知テ、之ヲ殺ス、魏

〔正始〕即位二年
改元

〔黃鉞〕大斧ナリ、
黃金ヲ以テ飾
ト爲ス、乃チ天
子ノ杖ツク所
ナリ、昭都督ト
爲リ、昭亦之ヲ
用ニ、故ニ假ト
曰フ

〔中藏〕内藏ヲナリ、
將サニ蜜ヲ以
テ梅ハ漬トス、
ヲ食ハシ、
〔蜜〕蜂ノ黄黒色、
〔蜜〕蜂ノ房ヲ
巖ニ作リ、花ヲ
採リ、蜜ヲ爲ク
ル、味甜ク、食
フヘシ、
〔服〕首服ナ
リ

主不平ナリ、左右、師ヲ誅スルヲ勸ム、
魏主、敢テ發セス、師、魏主ヲ廢ス、僭位
十六年、改元スル者ニツ、曰ク、正始、嘉
平、師、高貴郷公ヲ迎ヘ立ツ、是ヲ廢帝
ト爲ス、〔高貴郷〕邑、大名ハ髦、文帝ノ孫
明帝ノ姪、東海王、年十四ニ即位ス
○揚州ノ都督、母丘儉、〔母丘〕刺史文欽、
兵ヲ起シ、司馬師ヲ討ス、師、擊テ之ヲ
敗ル、師卒ス、弟昭、大將軍ト爲ル、尚書
ノ事ヲ録ス、巳テニシテ大都督ト爲ル、
黃鉞ヲ假ル、揚州ノ都督、諸葛誕、兵ヲ

起シ、昭ヲ討ス、昭、之ヲ攻殺ス、昭、相國
ト爲ル、晋公ニ封セラレ、九錫ヲ加レ
ル、受ケス、○吳主、亮、政親ラス、数、中書
ニ出テ、太常ノ時ノ舊事ヲ視ル、嘗テ
生梅ヲ食テ、黄門ヲノ中藏ニ至テ、蜜
ヲ索シ、シム、〔黄門〕蜜中ニ蠟、疾アリ、
向キニ蜜ヲ求レ、
〔蜜〕中ニ入レテ、以テ
怨テ、故ニ鼠矢ヲ蜜中ニ入レテ、以テ
蔵吏ヲ罪、蔵吏ヲ召シ、問テ曰ク、黄門
爾ニ從テ蜜ヲ求ルヤト、吏ノ曰ク、向
キニ求レ、
〔鼠〕取テ与ヘシト、黄門、服セ
ス、鼠矢ヲ破ラシム、矢中、燥ク、曰テ大

ニ笑ツテ曰ク、若シ矢、先ヨリ蜜中ニ
 在ラハ、中外俱ニ濕^{ウキ}ハン、今外濕^{ウキ}テ内
 燥ク、必ス黃門ノ為ス所ナラントハ、
 此^レ者必ス黃門ノ寮ヲ求メテ、得之ヲ
 詰^レハ、果ノ服ス、左右驚慄ス、大將軍
 孫^シ綝其ノ難問スル所多キヲ以テ、疾
 ト称メ、朝セス、兵ヲ以テ、宮ヲ圍ム、亮
 ヲ癸ノ、會稽王ト為ス、瑯琊王休ヲ迎
 ヘ立ツ、^休亮カ休立ツ、綝ヲ以テ、丞相
 ト為ス、^庶兄又新君ニ無礼ナリ、遂ニ誅
 セラル。○魏主髦、威權日ニ去ヲ見テ、

宿衛直宿護衛
 蒼頭頭髮青
 督力アル者
 隸ノ屬ヲ謂フ
 ナリ

其忿ニ勝ヘス、曰ク、司馬昭カ心ハ、
 路人モ知ル所ナリト、^{言ハ、行路ノ人}
 ニ篡^ハ知^ルト殿中宿衛ノ蒼頭官僮ヲ
 率テ、鼓譟^ノ出テ、昭ヲ誅セント欲ス、
 昭ノ黨賈充、入テ魏主ト戦ス、成濟^名
 亦昭^ノ戈ヲ抽テ、魏主髦ヲ指ス、車下ニ
 殞ス、追癸ノ庶人ト為ス、僭位七年、改
 元スル者ニツ、曰ク、正元、甘露、司馬昭
 常道郷公瓚ヲ迎ヘ立ツ、是ヲ魏ノ元
 皇帝ト為ス、常道郷公元皇帝、初ノ名
 ハ、瓚、燕王宇ノ子、操ノ孫ナリ、年十五

〔綴〕其軍ヲ牽制スルナリ、字書ニ綴ハ止ナリ

ニノ即位ス、兵ト改名ス。○姜維、夔魏ヲ伐ツ、司馬昭之ヲ患テ、鄧艾、鍾會ヲメ兵ニ將トシテ入テ寇ス、會〔會〕上李斜谷、駱谷、子午谷ヨリ漢中ニ趨ク〔駱谷〕洋州真符縣ニ北アリ通鑑ノ注ニ南口ヲ谷ト曰フ、登臨二谷、洋州ノ東、六十里、午、艾、狄道ヨリ甘松、南直中、南山路、絶、艾、狄道ヨリ甘松、中ニ趨ク〔狄道〕臨洮狄道ノ属ス、甘松、以テ姜維ヲ綴ス、維、會カ已テニ漢中ニ入ルト聞テ、兵ヲ引テ皆中ヨリ還ル、艾之ヲ追躡メ

〔魚貫〕進ハ山崖險隘、単行ノ相繼テ進ム、魚ヲ貫ク、綱、鑑ノ注ク、然リ、魚貫ハ貫ク、若ク、魚ノ接連ノ進ム、一ニ云フ、水ニ上ル、魚尾相啣フ謂フナリ

大ニ戦フ、維、敗走ス、還テ劍閣ヲ守リ、以テ會ヲ拒ク〔劍閣〕廣元府、綿艾、進テ陰平ニ至ル〔陰平〕郡、犍州無人ノ地七百里程ヲ行キ、山ヲ鑿テ道ヲ通シ、橋閣ヲ造作ス、山高ク、谷深シ、艾、壇ヲ以テ、自ラ襲ク、推轉メ而メ下ル、將士皆ナ木ヲ攀テ、崖ニ縁ル、魚貫ノ進ム、江油ニ至ル〔江油〕郡、順元書ヲ以テ、漢ノ將諸葛瞻ヲ誘ク〔瞻〕亮其ノ使ヲ斬ル、艾、書ヲ以テ、瞻ヲ誘テ、若サシカ、使ヲ斬ル、艾、綿竹ニ列陣メ、以テ待

ツ、敗績ス、綿竹州屬ス、漢將軍諸葛瞻之ニ
 死ス、瞻カ子尚ノ曰久父子、國ノ重息
 ヲ荷フ、早ク黄皓ヲ斬ラス、國ヲ敗
 リ、民ヲ殄セシム、用テ生ク、何ヲカ
 為サント黄皓閹臣トナリ、漢主之ヲ寵
 漢國ノ傾馬ニ策テ、陣ヲ冒メ死ス○
 漢人ノ不意ニ、魏兵卒ニ至ル、城守ヲ
 為サス、乃チ使ヲ遣ハシ、璽綬ヲ奉メ、
 艾ニ詣テ降ス、皇子北地王北地名謀ハ、
 王ノ名、禪怒テ曰久若シ理、窮リ、力、屈
 ノ、禍敗將サニ及ハントスレハ、便チ

當サニ父子君臣、城ヲ背メ一戦シ、同
 ク社稷ニ死シ以テ先帝ヲ見テ、可ナ
 ルベキナリ、奈何ソ降センヤト、帝、聽
 カス、謀、昭烈ノ廟ニ哭シ、先ツ妻子ヲ
 殺シ、而メ後ニ自殺ス、艾成都ニ至ル、
 帝、出テ、降ス、魏封メ安樂公ト為ス、帝、
 在位四十一年、改元スル者、四ツ、曰ク、
 建興、延熙、景耀、炎興、右、高帝元年乙未
 ヲヨリ、後帝禪、炎興癸未ニ至ル、凡テ二
 十六帝、通メ、四百六十九年ニシテ漢亡
 フ、王莽十五年、劉玄○吳主休歿ス、謚

漢七ヨリ後又
甲申ヲ歴云々
癸未漢七フ乙
酉西晋ノ武帝
元年其間甲申
正統ヲ闕ク

メ景皇帝ト曰フ、兄ノ子、烏程候皓立
ツ〔兄〕孫和〔烏程〕縣。○魏ノ司馬昭是ヨ
リ先キ、巳テニ九錫ヲ受ク、巳テニメ
爵ヲ進メテ、晋王ト為ル、昭卒ス、子炎
嗣ク、魏主奂、僭位六年、改元スル者ニ
ツ、曰ク、景元、咸熙、炎、魏主ニ迫テ、位ヲ
禪ラシム、封メ陳留王ト為ス、後卒ス
晋人、之ヲ謚メ、元ト曰フ。○魏、曹丕ヨ
リ、是ニ至ル、凡テ五世、四十六年ニノ
セフ。○漢七テヨリ、後又甲申ヲ歴、正
統ヲ闕ク一年

世祖武皇帝

姓ハ、司馬、名ハ、炎、河内ノ人、

昭ノ子懿ノ孫ナリ、昭、晋王ト為ル、議
ノ世子ヲ立ツ〔世子〕王侯ノ太子、議者
炎カ髮、立テハ地ニ委シ、手垂レハ膝
ヲ過キ、人臣ノ相ニ非ルヲ以テ、遂ニ
立ツ、巳テニノ嗣テ王ト為リ、帝位ニ
即ク、懿ヲ追尊メ、宣皇帝ト為シ、師ヲ
景皇帝ト為シ、昭ヲ文皇帝ト為シ、大

○西晋司馬炎、父晋王ノ爵ヲ襲テ、

ヲ建テ晋ト号ス、河南ノ洛陽ニ
都ス、元帝、江東ニ都マシヨリ、懿
帝以前ヲ稱メ、西晋ト為ス、

昭ノ子懿ノ孫ナリ、昭、晋王ト為ル、議

ノ世子ヲ立ツ〔世子〕王侯ノ太子、議者

炎カ髮、立テハ地ニ委シ、手垂レハ膝

ヲ過キ、人臣ノ相ニ非ルヲ以テ、遂ニ

立ツ、巳テニノ嗣テ王ト為リ、帝位ニ

即ク、懿ヲ追尊メ、宣皇帝ト為シ、師ヲ

景皇帝ト為シ、昭ヲ文皇帝ト為シ、大

成藥合成ノ藥劑

ニ宗室ヲ封ス、晋、吳ヲ滅スルノ志アリ、羊祜ヲ以テ荊州ノ事ヲ督セシム、吳陸抗ヲ以テ諸軍ヲ都督セシム、祜抗ト境ヲ對シ、使命常ニ通ス、抗、祜ニ酒ヲ遺ル、祜之ヲ飲ミ、疑ハス、抗、疾ハ、祜、之ニ成藥ヲ与フ、抗、即チ之ヲ服ノ曰ク、豈ニ人ヲ鳩スル羊祜子アラシヤト祜字、祜、務テ德政ヲ修メ、以テ吳人ヲ懷ク、兵ヲ交ユルコトニ、日ヲ刺メ、方サニ戰フ、掩襲セス、抗モ亦其ノ邊戍ニ告ク、各分界ヲ保スルノミ

列期ナリ

青蓋王ノ乗ル車ナリ、壁ヲ注ニ、壁ノ杜ヲ注ニ、壁ノ手ヲ注ニ、壁ノ象ヲ注ニ、壁ノ中ヲ注ニ、壁ノ口ヲ注ニ、壁ノ者ヲ注ニ、壁ノテヲ注ニ、壁ノサヲ注ニ、壁ノヲ注ニ、壁ノ目ヲ注ニ、壁ノヲ注ニ、壁ノナヲ注ニ、壁ノ亦ヲ注ニ、壁ノ通ヲ注ニ、壁ノスヲ注ニ、壁ノ美ヲ注ニ、壁ノ

細利ヲ求ムルナシ、時ニ吳主皓、德政ヲ修セス、兼美セント欲ス、術士ヲノ天下ヲ取ランヲ筮セシム、對テ曰ク、庚子ノ歲、青蓋、當サニ洛陽ニ入ルヘシト、蓋シ壁ヲ衝ムノ事ヲ謂フ、而ルヲ皓、悟ラス、諸將ノ謀ヲ用テ、數晋ノ邊ヲ侵盜ス、抗、諫レ、氏聽カス、抗、卒ス、祜、吳ヲ伐ント請フ、議者、多ク同カラス、祜、歎ノ曰ク、天下意ノ如クナラサル事、十二常ニ七八ト、惟杜預、張華、其計ヲ贊ク、祜、病テ入朝センヲ求ム

稱「碁局」
聖人ニ非ルヨ
リ云々謂ハ、外
既ニ且サニ患
内ニ且サニ患
外ニ制メ、其
内ヲ安スルヲ
以テ計ヲ為ス
ノ愈ニ若クナ
キナリ、左傳成
公ノ十六年、晉
ノ范文子曰ク、
唯聖人能ク内
外患ナシ、聖
ニ非ルヨリ、
寧ケレハ、必
内憂アリ、蓋
楚ヲ釋メ、以
外懼ト為サ、
テ

既ニ至ル、面ノアタリ吳ヲ伐ツノ計
ヲ陳フ、晉帝之ヲ善シ、祐ヲメ卧ナカ
ラ、諸將ヲ護セシメント欲ス、疾アリ、
故ニ卧護祐カ曰ク、吳ヲ取ルハ、臣カ
行ヲ必トヒス、但、吳ヲ平クルノ後、當
サニ聖慮ヲ勞スヘキシノミト、祐、預
滅テ晋乱ル祐卒ス、通鑑ニ、南州ノ民、
テ、之カ為ノ守ニ市ヲ罷ム、巷ニ哭聲ヲ聞
接ス、吳ノ好テ岷山ニ遊フ、襄陽ノ人、
碑ヲ建テ廟ヲ其地ニ立ツ、歲時ニ祭
祀ス、其碑之ヲ望ム者、流涕セサル、杜預
ヲ以テ鎮南大將軍ト為シ、荊州ノ事

竹林七賢ノ圖



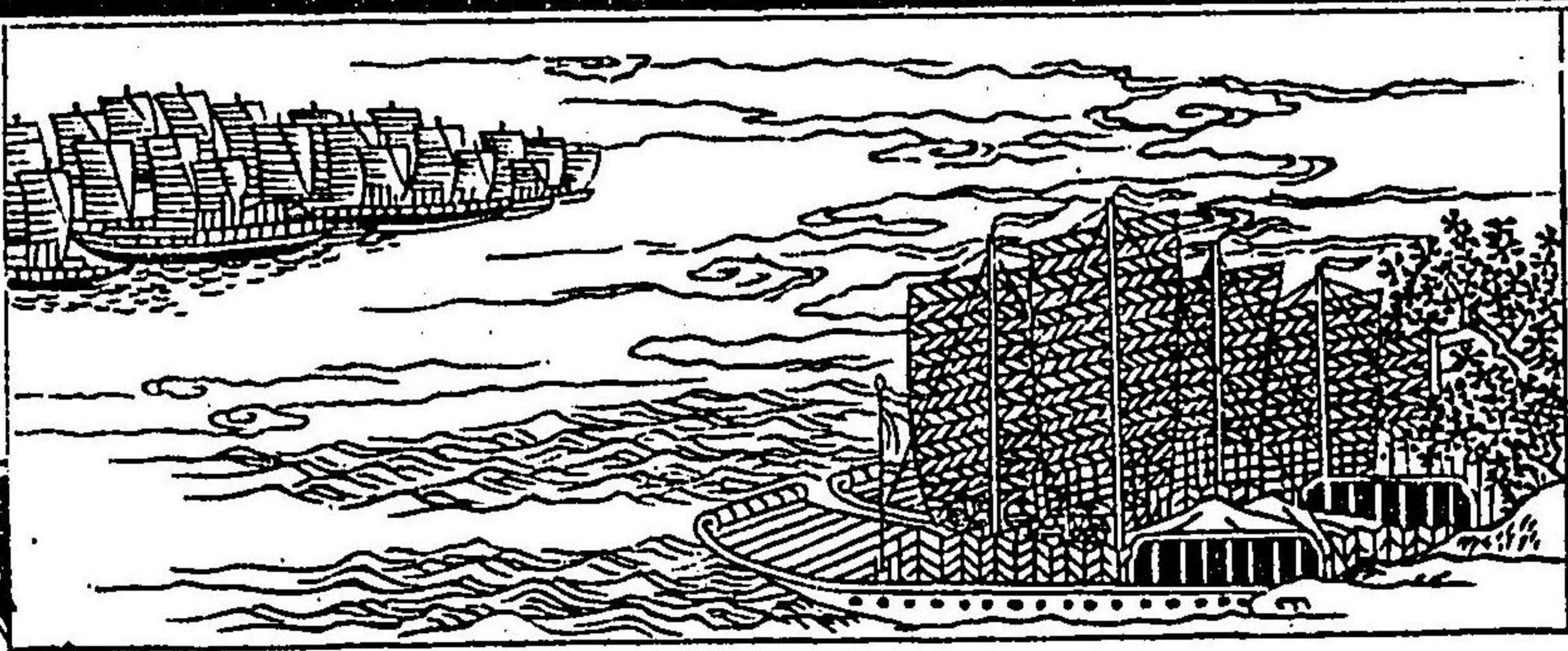
ヲ習セシム、吳主皓、淫虐日ニ甚シ、預、
表ノ速ニ之ヲ征セント請ス、表至ル、
張華、適サニ帝ト謀ス、即チ評ヲ推シ、
手ヲ歛テ、其ノ決ヲ贊ク、帝之ヲ許ス、
山濤、人ニ告テ曰ク、聖人ニ非ルヨリ
ハ、外寧ケレハ、必ス内ノ憂アリ、吳ヲ
釋メ外懼ト為ル、豈ニ笑ニ非ラスヤ
ト時ニ濤吏部尚書タリ、濤昔シ魏晉
ノ間ニアリ、稽康、阮籍、籍カ兄ノ子咸、
向秀、王戎、劉伶ト相友タリ、竹林ノ七
賢ト号ス、皆ナ老莊虛無ノ學ヲ崇尚

龍頭
西晉武帝
史

〔啓事〕跪テ、其事
 ヲ陳ルヲ、啓ト
 曰フ〔積〕水渚、石
 アルヲ、積ト曰
 フ〔之〕ヲ、截ツ
 路ヲ断スルナ
 リ、錐ト鋒芒ノ
 鋭

シ、礼法ヲ輕蔑ス、縱酒昏酣ノ、世事ヲ
 遺落ス、士大夫皆ナ之ヲ慕效ス之ヲ
 放達ト謂ス、惟濤、仍ヲ意ヲ世事ニ留
 ヲ、是ニ至テ、選ヲ典ル吏部ハ、選舉人
 物ヲ甄拔シ、各題目ヲ為リ、之ヲ奏ス、
 時人、之ヲ稱メ山公カ啓事ト為ス○
 晉、大舉ノ吳ヲ代ツ、杜預、江陵ヨリ出
 ツ、王濬、巴蜀ヨリ下ル、吳人、江積要害
 ノ處ニ於テ、並ニ鑿鎖ヲ以テ、江ニ横
 テ、之ヲ截ツ、又鑿錐ノ長サ丈餘ナル
 ヲ作り、暗ニ江中ニ置テ、舟艦ヲ逆拒

晋大舉ノ吳ヲ伐ツ圖



ス、濬、大艦ヲ作り、水ニ善キ者ヲノ後
 ヲ以テ、先行セシム、錐ニ遇ヘハ、輒チ
 後ヲ著テ去ル、又大炬ヲ作テ、灌ニ麻
 油ヲ以テス、鎖ニ遇ヘハ、之ヲ燒ク、預
 與ニシ融液ノ、断絶ス、是ニ至テ、船礙
 ル所ナシ、遂ニ先ツ上流ノ諸郡ニ克
 ツ、預、人ヲノ奇兵ヲ率テ、夜渡ル、吳ノ
 將孫權テ曰ク、北来ノ諸軍、乃チ江ヲ
 飛々渡ルナリト、預、兵ヲ今テ、濬ト合
 メテ武昌ヲ攻ム、之ヲ降ス、預、謂ス、兵
 威已テニ振フ、譬ヘハ竹ヲ破ルカ如

〔面縛〕左傳後ニ杜
注ニ、手ヲ傳ノ
縛ス、唯其面ヲ
見ル、一説ニ面ヲ
縛スハ、手ヲ前ニ
縛スナリ、手ヲ
後ニ縛ト謂ス、之
又縛ト謂ス、又
之ヲ及ト謂ス、
〔輿觀〕接ト謂
フナリ、車ヲ以テ
棺ヲ載セ、死罪
ヲ示スナリ、
說ニ、輿ハ、負ナ
リ、從者ハ、シム
コトヲ觀ナリ、

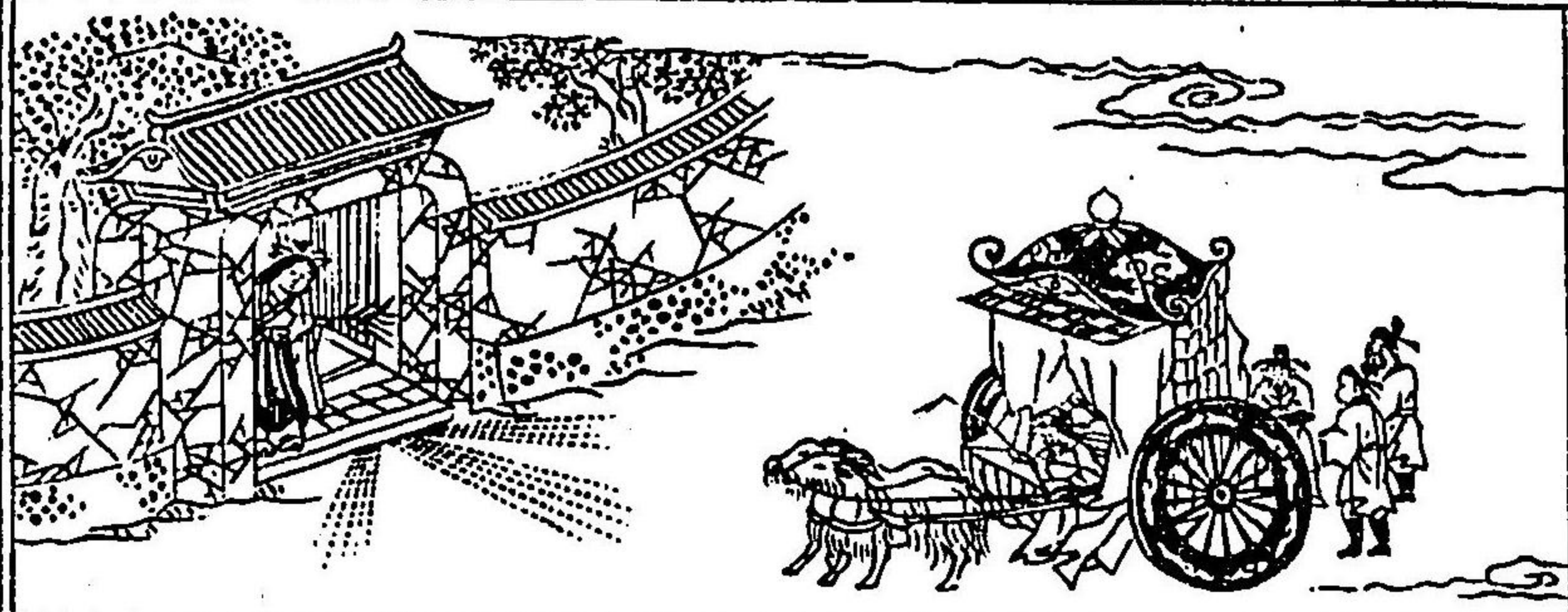
シ、數節ノ後ハ、又ヲ迎ヘテ解久、復手
ヲ著クル處ナキナリト、遂ニ群帥ニ
方略ヲ指授ス、徑ニ建業ニ至ル、潘力
戎卒八万、舟ヲ方ル百里、帆ヲ舉テ、直
ニ建業ヲ指ス、鼓譟ノ石頭城ニ入ル
〔石頭城〕建吳主皓、面縛輿觀ノ降ス、歸
命侯ニ封ス、遂ニ庚子、洛ニ入ルノ讖
ニ符フ、大帝ヨリ、是ニ至ル、四世、帝ト
稱スル者、凡ソ五十二年ニシテ、
ニ孫策江東ヲ定テヨリ、以來、通ノ八
十餘年、漢、劉、繇、帝、興、平、二、年、十、二、月、之、孫

〔雉頭裘〕狀文ニ、
雉ノ頭ヲ毛クテ、
テ之ヲ為ク、
通鑑ニ、咸寧四年、
年、大監司馬程
於、嘗テ此ノ裘
ヲ獻ス、帝、遂ニ
之ヲ勅ス、奇技異
服ヲ勅ス、奇技異
ア、レハ、之ヲ罪者
セ、レトハ、之ヲ罪
ミ、以テ羊油ヲ皆
ナ、以テ羊油ヲ皆
テ、以テ羊油ヲ皆
ル、以テ羊油ヲ皆
ラ、以テ羊油ヲ皆
ム、以テ羊油ヲ皆
者、以テ羊油ヲ皆
車ヲ引ク、帝ノ

ヲ走ラシメ、又其將朱治ヲ遣シ、吳郡ノ
大守許貢ヲ逐フテ、其郡ニ據ル、貢南
山賊嚴白虎ニ依ル、後、策皆ヲ擊テ之
ヲ殺ス、建安元年七月、會稽ヲ取ル、太
守王朗、晋、魏ヲ代ツ十有六年、太康元
年ニ至テ、吳ヲ滅ス、又十年ニシテ、帝崩
ス、帝、初メ位ニ即ク、嘗テ雉頭裘ヲ、太
極殿ノ前ニ焚キ、以テ儉ヲ示ス、既ニ
ノ侈縱ナリ、後宮數千、常ニ羊車ニ乘
ル、宮人竹葉ヲ門ニ挿ミ、蓋ヲ洒テ、以
テ之ヲ待ツ、羊車ノ至ル所、只、蹄ヲ留
テ、酣宴ス、群臣ト語ルニ、未夕嘗テ經
國ノ遠謀アラス、吳、既ニ平テヨリ、天

龍 頤 西晉 武帝 卒

帝羊車ニ乗ル圖



下無事ナリト謂テ盡ク州郡ノ武備ヲ去ル、山濤獨之ヲ憂フ、漢魏ヨリ以來、羌胡鮮卑ノ降スル者、多ク塞内ノ諸郡ニ處ル、郭欽嘗テ上疏ノ謂フ、宜ク吳ヲ平クルノ威ニ及テ、漸ク内郡ノ雜胡ヲ邊地ニ徙シ、四夷出入ノ防ヲ峻メ、先王荒服ノ制ヲ明ニスヘシト、〔雜胡〕鮮卑、匈奴、羌、氏、羯ノ諸種ヲ謂フ、謂ハ我狄ノ塞内ノ諸郡ニ在テ謂相雜ニ居ル者、宜ク之帝、聽カス、卒ニ外ニ遷スヘキナリ帝、聽カス、卒ニ天下ノ患ヲ為ス、帝、在位凡テ二十六年、改元スル者三ツ、曰久泰、始成、寧、太

〔疑事〕尚書決シ難キノ事

康太子立ツ、是ヲ孝惠皇帝ト為ス、**〔孝惠皇帝〕**名ハ衷、性不慧ナリ、太子タル時、妃賈氏ヲ納ル、充ノ女ナリ、權詐多シ、衛瓘嘗テ武帝ニ侍シ、陽醉シテ、前ニ跪キ、手ヲ以テ、床ヲ撫ノ曰ク、此ノ座、借ム可シト、武帝、悟ル、尚書ノ疑事ヲ密封シ、太子ヲメ之ヲ決セシム、賈氏大ニ懼ル、外人ヲ傭テ、算ヲ具メ、代テ對ヘ、太子ヲメ自ラ寫サシム、武帝悦フ、察セラレサルヲ得タリ、是ニ至テ、位ニ即ク、賈氏、皇后ト為ル、政ニ預

衛瓘 瓘醉末ヲ撫



ル、皇太后楊氏ハ、乃チ帝ノ母楊后ノ
 従妹〔楊氏〕武帝ノ初ノ武帝、太子所ノ楊駿ノ
 文宗ノ女ナリ、聘ス、後、皇后ト為ル、后崩
 ス、又文宗ノ弟駿カ、皇后ト為ル、即ク、尊テ
 ト、為ス、武帝崩ス、惠帝位ニ納レテ、皇太后
 皇太后ト曰フ、〔楊后〕武帝ノ母トスル所
 帝ノ楊生母ナリ、女、惠父駿ノ皇太后ト
 為ル、賈后駿ヲ殺シ、太后ヲ廢ス、太宰
 汝南王亮ヲ殺シ、太保衛瓘ヲ殺シ、楚
 王瑋ヲ殺ス、及フ、凡テ八王、出ル所、
 未ト曰フ、詳カナラズ、姑ク注シ、宗室ノ
 之ヲ詳ニ大緊、皆ナク、武帝ノ子ナリ、讀
 穎、熾、四ノ人ハ、共ニ惠帝ノ弟、亮、倫、
 ハ、文ノ弟、安平王孚、齊
 王攸ノ子、顯、八、宣、王ノ弟、安平王孚、齊

〔牙籌〕象牙ノ筭

孫、大原王瑋ノ子、越ハ、宣王ノ弟、東武
 侯、趙ノ孫、高密王泰ノ子、熈ハ、泰ノ弟
 范、陽ノ子、衆望ヲ以テ、張華、裴頠、王戎ヲ
 綏ノ子、衆望ヲ以テ、張華、裴頠、王戎ヲ
 用テ、機要ヲ管ラシム、華、忠ヲ帝室ニ
 盡ス、后、凶險ト雖モ、猶ヲ輕重スルヲ
 知ル、願ト心ヲ同シ、政ヲ輔ク、數年ノ
 間、暗主上ニ在リト雖モ、而レモ朝野
 安靜ナリ、戎、時ト浮沈ス、匡救スル所
 ナシ、性復タ貪吝ナリ、田園天下ニ遍
 シ、牙籌ヲ執テ、晝夜會計ス、家ニ好李
 アリ、人ノ其種ヲ得ンヲ恐レテ、常ニ
 其核ヲ鑽ル、凡ソ賞拔スル所、口、專ラ

名教、躬、礼、義、人倫、名、實、ノ、教、ヲ、行、フ、之、ヲ、名、教、ト、曰、フ、言、ハ、聖人、ノ、教、ハ、皆、ナ、必、ス、名、ヲ、立、ク、五、典、五、倫、ノ、類、ノ、如、シ、故、ニ、名、教、ト、曰、フ、自、然、清、虚、無、為、將、同、シ、キ、無、ヲ、サ、ン、ヤ、殆、シ、ト、カ、ラ、サ、ラ、同、シ、ト、ス、程、大、昌、曰、ク、直、ニ、同、ト、云、ハ、ス、メ、將、同、シ、キ、無、ン、ヤ、ト、云、フ、ハ、晋、人、ノ、語、ナ、リ、集、覽、ニ、云、將、無、同、ヲ、句、猶、ヲ、為、ス、將、無、得、無、ハ、

虚名ヲ事トス、阮咸ノ子瞻、我ヲ見ル、我、問、テ、曰、ク、聖人ハ、名教ヲ貴ス、老莊ハ、自然ヲ明ニス、其旨、異ナルカ、同キカト、瞻カ曰、久、將、同、シ、キ、一、無、ン、ヤ、ト、我、咨、嗟、ス、ル、良、久、シ、遂、ニ、之、ヲ、辟、ス、時、ニ、三、語、ノ、椽、ト、号、ス、是、ノ、時、王、衍、樂、廣、皆、ナ、清、談、ニ、善、シ、衍、神、情、明、秀、ナ、リ、少、キ、時、山、濤、之、ヲ、見、テ、曰、ク、何、物、ノ、老、嫗、カ、寧、馨、兒、ヲ、生、ム、然、レ、氏、天、下、ノ、蒼、生、ヲ、誤、ラ、ン、者、ハ、未、夕、必、ス、此、ノ、人、ニ、非、ラ、ス、ン、ハ、ア、ラ、サ、ル、ナ、リ、ト、行、力、弟、澄、

ト、言、フ、コ、ト、キ、ノ、類、津、南、王、若、虚、曰、ク、將、無、同、其、意、蓋、シ、同、言、フ、ナ、リ、三、語、椽、ノ、三、語、ニ、曰、テ、椽、ノ、寧、馨、兒、ノ、ナ、リ、寧、馨、兒、ノ、馨、ハ、猶、ヲ、言、フ、カ、ノ、如、シ、ト、言、フ、カ、コ、ト、シ、シ、蒼、生、猶、コ、ト、黎、民、ト、言、フ、カ、青、髮、上、リ、長、テ、ス、猶、ヲ、草、木、ノ、色、ノ、故、ニ、民、ヲ、称、メ、蒼、生、ト、意、ヲ、任、放、ス、ル、ハ、意、ヲ、放、ニ、放、誕、ヲ、謂、フ、

及ヒ阮咸、咸カ、從子、脩、晉書ニ、咸、脩、二、人、皆、ナ、籍、カ、從、子、胡、母、輔、之、胡、母、謝、鯤、畢、卓、等、皆、ナ、任、放、ヲ、以、テ、達、ト、為、ス、醉、裸、シ、以、テ、非、ト、為、サ、ス、此、捨、ノ、郎、瓌、熟、ス、卓、夜、瓌、間、ニ、至、テ、盜、ミ、飲、ム、守、者、ノ、為、ノ、ニ、縛、セ、ラ、ル、且、ニ、之、ヲ、視、レ、ハ、畢、吏、部、ナ、リ、卓、時、部、夕、樂、廣、聞、テ、之、ヲ、笑、テ、曰、ク、名、教、ノ、中、自、ラ、樂、地、ア、リ、何、ソ、必、ス、乃、チ、尔、ル、ヤ、ト、初、ノ、魏、ノ、時、何、晏、等、論、ヲ、立、ツ、以、ラ、ク、天、地、万、物、皆、ナ、無、ヲ、以、テ、本、ト、為、ス、ト、衍、等、之、ヲ、愛、重、ス、裴、頌、崇、有、論、ヲ

名教 頌 西晉 惠帝 空

畢卓醉裸麈尾間ニ飲ム



著スレバ、救フ能ハス。○太子適、賈后ノ生ム所ニ非ス、謝玖カ出后、廢ノ之ヲ殺ス、征西大將軍趙王倫、宣帝ノ詔ヲ矯テ、兵ヲ勒シ、宮ニ入ル后ヲ廢メ、之ヲ殺ス、張華、裴頠、ヲ殺ス、倫、相國ト為ル、淮南王允、宗室兵ヲ率テ、倫ヲ討ス、克ク、タス、死ス、倫、衛尉石崇ヲ殺ス、衛尉九卿ノ一、官拔崇、愛妾綠珠アリ、倫カ嬖人孫秀、之ヲ求ム、与ヘス、崇ヲ誣ユ、允ヲ奉メ、乱ヲ為スト、之ヲ收メ、崇カ曰ク、奴輩、吾カ財ヲ利スルノ

ナリ、〔達〕通達ノ拘束ナキナリ、貂蟬侍中、中常侍ノ冠ヲ以テ、貂尾ノ冠ヲ以テ、附ト為ス、蟬ヲ附テ、文ト為ス、鼠ノ云、冠ノ名、鼠ノ屬、通鑑ノ注ニ、貂、外温潤ナリ、蟬、外高居テ、清潔、口、腋下ニアリ、物ニ因テニ義ヲ生ス、以テ冠ノ飾ト為ス、貂蟬ノ足ヲ、狐裘ノ史記ニ、狐裘ノ敵ニ、狗雖モ、補フニ、黃狗ノ皮、以テス、可シ、亦此ノ意

ミト、收ル者曰ク、財ノ禍タルヲ知ラハ、何ソ早く之ヲ散セサルト、遂ニ殺サル石崇、字ハ季倫、石苞カ子、青州刺史ト為ル、故ニ小名ハ、齊奴、荆州ノ殺シ、以テ巨富ヲ致ス、人ヲ倫、自ラ九錫ヲ加ヘ、帝ニ逼テ、位ヲ禪ラシム、黨餘皆御相ト為ル、奴卒モ亦爵位ヲ加フ、朝スルコトニ、貂蟬坐ニ滿、以時人、語メ、曰ク、貂足ラス、狗尾續クト、齊王問文、帝ノ次子、許昌ヲ鎮成都、王頴ノ宗室齊王攸カ子、許昌ヲ鎮、成都、王頴ノ宗室鄴ヲ鎮ス、河間王顥、河間郡、河東ニ屬、關中ヲ鎮ス、各兵ヲ舉テ、倫ヲ討ス、倫

西晉惠帝 卒四

華亭縣松江
屬ス、機カ封
ラ所ナリセニ

誅ニ伏ス、阿政ヲ輔ク、驕奢ニノ權ヲ
擅ニス、顯、長沙王又ヲメ之ヲ殺サシ
ム、又宗室顯モ亦功ヲ恃テ、驕奢ナリ、
已テニノ、顯ト兵ヲ舉テ及ス、又帝ヲ
奉メ、顯ト戦フ、顯カ將陸機戦敗テ、収
ヘラル、初メ機、官者孟玖ト隙アリ、戦
日ク、機、長沙ニ心アリ、顯、大ニ
怒テ、牽秀ヲメ、兵ヲ將テ機ヲ収ラヘ
シ、歎メ曰ク、華亭ノ鶴唳復聞ク可ケ
ンヤト弟雲ト皆ナ顯カ為メニ殺サ
ル、機、雲ハ、皆ナ陸抗カ子ナリ、顯、兵ヲ
進メテ、京師ニ入ル、丞相ト為ル、已テ

〔浣〕濯ナリ

ニノ鄴ニ還ル、顯、顯ヲ表メ、皇太弟ト
為ス、東海王越ノ宗室帝ノ命ヲ奉メ、顯
ヲ征ス、顯、兵ヲ遣メ、蕩陰ニ拒戦ス、蕩陰
縣、彰德乘輿敗績ス、侍中稽紹侍中官、
ニ屬ス、左右衆事ヲ贊道スル者ナリ、身ヲ
ル、出レハ、則チ參乘スル者ナリ、身ヲ
以テ帝ヲ衛ル、殺サル、血、帝ノ衣ニ濺
ク、顯、帝ヲ迎テ、鄴ニ入ル、左右帝ノ衣
ヲ浣ハント欲ス、帝ノ曰ク、稽侍中ノ
血、浣フナカレナリト、顯、帝ヲ奉メ、洛
ニ還ル、顯カ將張方、洛ニアリ、帝ヲ長
安ニ迂ス、顯、太弟顯ヲ廢メ、豫章王熾

ヲ更アツノ立テ、太弟ト為ス嗣弟ヲ以テ、皇
 太弟ト称ス、或東海王越、兵ヲ發シ、西
 ハ、太弟ト称ス、或東海王越、兵ヲ發シ、西
 ノ方、長安ニ入ル、帝ヲ奉シ、洛ニ還ル
 越ヲ以テ政ヲ輔ク、成都王穎、先キニ
 洛陽ニ據ル、已テニノ長安ニ奔ル又
 武関ヨリ新野ニ奔ル〔新野〕縣、鄧遂ニ
 北ノ方、河ヲ濟ル、故ノ將士ヲ収ム、頓
 丘ノ太守ノ為ニ執ヘラル〔頓丘〕郡
 屬ス、今ノ開時ニ范陽王〔暭〕宗室、鄴ニ
 州〔太守〕馮嵩時ニ范陽王〔暭〕宗室、鄴ニ
 據ル、穎ヲ虜ニ送ル、未夕幾クナラス
 ノ、殺サル○帝、麵ヲ食ヒ、毒ニ中テ崩

〔糜〕粥ナリ

〔銅駝〕網鑑ノ注
 二、秦ノ始、皇ノ長
 索駝ヲ鑄ル、西、振
 安宮城ノ西、魏
 門外、帝ノ時、魏
 ノ明帝ノ時、魏
 至リ、長安ヨリ
 徙ス、洛陽宮門
 ノ前、康至、初、晋
 ノ咸康ノ初、晋
 石虎、又、鑄ル、所、徙
 ス、漢、駝、鑄ル、所、徙
 ノ、銅駝、南、ア、會
 官門ノ南、ア、會
 道頭ニ置テ、相、對
 ス

ス、或人曰ク、東海王越、之ヲ鳩スルナ
 リト、帝、昏愚ナリ、天下大ニ饑ニ、帝ノ
 曰ク、何ソ肉糜ヲ食ハサルト、華林園
 ニ蛙鳴ヲ聞ク、〔華林園〕洛陽帝ノ曰ク、彼
 ノ鳴ク者ハ、官ノ為メニスルカ、私ノ
 為メニスルカト、左右、之ニ戲テ曰ク、
 官地ニ在ル者ハ、官ノ為ニシ、私地ニ
 在ル者ハ、私ノ為メニスト、賈氏カ政
 ヲ專ニスルニ方ツテ、時人將サニ乱
 ントスルヲ知ル、索靖、洛陽ノ宮門ノ
 銅駝ヲ指シ、歎ノ曰ク、會ス、汝カ荆棘

甥ト曰フノ子ヲ
猶ヲ涉ノ智ト
キナリ馬智千
人ニ過ルヲ馬
ト曰フ犀序皆
ナ国学ノ名殷
ニハ序ト曰ヒ
フ周ニハ序ト曰

ノ中ニ在ルヲ見シト、趙王倫力
乱後、諸王迭ヒニ相殘滅ス、天下大ニ
乱ル。○劉淵、左國城ニ興ル。通鑑ノ注
ハ、蓋シ匈奴左部ノ所居城ナリ。水經
ノ注ニ曰ク、左國城ハ汾州ノ右介休
縣ノ西南淵ハ、故ノ南匈奴ノ後ナリ
冒頓ノ孫十九匈奴ハ、漢魏ヨリ以來、中國
ニ臣タリ、其先世ハ漢ノ甥ナルヲ以
テ、漢姓ヲ冒ス、父豹、左部ノ帥タリ、淵
ヲ生ム、幼ニメ馬異ナリ、博ク經史ヲ
習フ、嘗テ曰ク、吾レ隨陸力武ナクメ、
高帝ニ遇テ、封侯ノ業ヲ建ル能ハス、

三百斤ニ石ニ
鈞ナリ、律歷志
ニ、一、論、千二百
黍ヲ容ル、重サ百
十二銖、之ヲ兩
ニスルヲ、兩ト
為ス、十六兩ヲ
斤ト為ス、三十
斤ヲ鈞ト為ス、
四鈞ヲ石ト為
ス、(從祖)伯封祖
ナリ、父ノ從兄
弟ハ、則チ已レ
ノ從祖父ナリ

〔隨陸〕隨陸力文ナクメ、文帝ニ遇フ
何、陸賈、絳灌カ文ナクメ、文帝ニ遇フ
テ、庠序ノ教ヲ興ス能ハサルヲ耻ツ
絳灌、絳侯周豈ニ惜マサランヤト、是
勃ト灌嬰
ニ於テ、武事ヲ兼ネ學フ、姿貌魁偉ナ
リ、初メ侍子ト為リ浴ニ在リ、豹死ス、
武帝、淵ヲ以テ、代テ五部ノ帥ト為ス、
既ニメ北部ノ都尉ト為ス、五部ノ豪
傑多ク之ニ歸ス、帝ノ世ニ及テ、以テ、
五部ノ大都督ト為ス、成都王穎、表メ
左賢王ト為ス、嘗テ兵ヲ將テ、鄴ニ在
ラシム、淵カ子聰、亦驍勇、人ニ絶ヘ、博

〔編戶〕民ヲ謂フ
ナリ、言ハ、民戸
籍ニ編テ、高下
差ナシ、奄忽
ナリ、〔島沸〕言ハ、
乱、島湯ノ沸ク
如キナリ

ク經史ニ涉ル、善ク文ヲ屬ル、弓ノ三
百斤ヲ彎ク、淵カ從祖宣カ曰ク、漢七
テヨリ以來、我カ單于、徒ニ虚号アリ、
復尺土ナシ、自餘ノ王侯、降テ編戸ニ
同シ、今吾カ衆衰タリト雖モ、猶ヲ二
万アリ、奈何ソ手ヲ歛テ、役ヲ受ケ、奄
トソ百年ヲ過ンヤ、司馬氏、骨肉相殘
ヒ、四海島ノ沸ク如シ、左賢王ハ、英武
世ニ超タリ、呼韓邪ノ業ヲ復セント、
此レ其ノ時ナリト、乃チ相与ニ謀テ、
之ヲ推ス、淵、頽ニ説ク、請フ、帰テ五部

〔族子〕從父兄弟
ノ子ヲ、族子ト
曰フ、〔流民〕他州
ヨリ、流レ入ル
者ヲ謂フナリ

ヲ帥テ、來リ助ケント、淵、來助ニ託言
ニ、教カント、既ニ左國城ニ至ル、宣等、
推ソ大單于ト為ス、二旬ノ間、衆五万、
離石^{離石}ニ都ス、^州屬ス、胡晋ノ之ニ帰
スル者、愈衆シ、乃チ國号ヲ建テ、漢ト
曰フ、漢王ト称ス、淵、族子曜アリ、生テ
眉白シ、目ニ赤光アリ、幼ニソ聰慧ナ
リ、膽量アリ、亦好ク書ヲ讀ミ、文ヲ屬
ル射ハ、能ク鏃ヲ洞ス七寸、是ニ至テ、
淵ノ將ト為ル、○巴西ノ氏、李特、初ソ
流民ヲ以テ、蜀ニ入ル、旬月ニ衆ニ万

雄持カ第三子

〔巴西〕郡、順州ニ屬ス、今ノ順慶府〔氏〕西南夷ノ名、廣漢ニ據ル
 〔廣漢〕郡、四川ニ進テ成都ヲ攻ム、刺史
 屬ス、今ノ漢川ニ進テ成都ヲ攻ム、刺史
 羅尚カ為メニ敗ラル、其首ヲ斬ル、弟
 流、代テ其衆ヲ領ス、勢復盛ナリ、流、死
 ス、兄ノ子雄代ル、攻テ羅尚ヲ走ラシ
 ム、成都ニ入ル、是ニ至テ、自ラ成都王
 ト稱ス。○鮮卑ノ慕容廆〔慕容〕姓武帝
 ノ時ヨリ、已テニ寇ヲ為ス、既ニソ降
 ス、以テ鮮卑ノ都督ト為ス、廆、皝ヲ生
 ム、遼東ヨリ徙テ、徒河ニ居ス〔徒河〕未
 所ヲ詳又大棘城ニ徙ル〔天棘城〕遼帝
 ニセテス

ノ世ニ及ヒ、慕容カ部、愈盛ナリ。○鮮
 卑ノ慕容廆拔氏ノ集別部ナリ、鮮卑
 拔氏、其俗索ヲ以テ、髮ヲ辮ム、曰テ索
 頭ト号ス〔索頭〕釋文ニ、姓ナリ、其後ヲ
 魏ト為ス、北史ニ、魏ノ先、黃帝ヨリ出
 ツ、黃帝ノ子昌意ノ少子封ヲ北國ニ
 受ク、大鮮卑國アリ、以テ号ト為ス、黃
 帝、土德ヲ以テ、王タリ、北俗、土ヲ謂テ、
 拓ト為ス、后ヲ謂テ、跋ト為ス、故ニ是
 曰テ拓拔ヲ以テ、氏ト為スナリ。是
 ヨリ先キ、質子アリ、晋ニアリ、武帝、遣
 リ歸ス、既ニソ拓跋カ微、又其子ヲソ
 入貢セシム、カ微死ス、子悉祿官立ツ、
 帝ノ世ニ及テ、索頭、國ヲ分テ、三部ト
 為ス、一ハ、上谷ノ北ニ居ス、祿官、自ラ

〔崩蘗〕物ノ直ニ出ルヲ、萌ト曰フ、旁ニ出ルヲ、蘗ト曰フ、孟子告子篇、朱注ニ、萌ハ、芽ナリ、蘗ハ、芽ノ旁ニ出ル者ナリ

之ヲ統フ、一ハ、代郡參合陂ノ北ニ居ス、兄ノ子猗色ヲノ之ヲ統ヘシム、一ハ、定襄ノ盛樂故城ニ居ス、猗色カ弟、猗盧ヲノ之ヲ統ヘシム、晋人附ク者、稍衆シ、猗色、漢ヲ渡リ、北ニ巡リ、西ノ方、諸國ヲ略ス、降附スル者三十餘國、拓拔氏ノ盛ナル、此ニ始マル、夷狄華ヲ乱ルノ禍〔華〕中皆ナ漢魏晋ノ間ニ崩蘗ス、帝ノ世ニ至リ、中國ノ大乱ニ乗シ、四ニ起ル是ノ時、鮮卑、匈奴、羌、羯、五種ノ胡人、相繼テ起リ、中原ノ帝、在位十七年、改元スル

〔十五年〕即チ永興元年ナリ

者ハツ、曰ク永熙、永平、元康、永康、大安、永興、光熙、太弟立ツ、是ヲ孝懷皇帝トナス

〔孝懷皇帝〕名ハ熾、惠帝ノ十五年ニ當テ、武帝ノ子二十五人名字未タ兄弟相屠ノ餘、存スル者三人ノミ三人、顯、熾、晏

ハ、其一ナリ、素ヨリ學ヲ好ム、故ニ立テ太弟ト為ル、是ニ至テ即位ス、懷帝舊制ニ遵ヒ、東堂ニ於テ、政ヲ聽ク、宴會スルコトニ、輒チ群臣ト衆務ヲ論ス、経籍ヲ考フ、黃門侍郎、傅宣、歎ノ曰ク、今日復武帝ノ世ヲ見ルト○成都王李雄、帝ト称ス、國ヲ成ト号ス

丙郡内近ノ州ナリ

通鑑ニ此一節ノ事、惠帝ノ光熙元年ニアリ。○漢主劉淵、帝ト称ス、徙テ平陽ニ都ス、其子聰及ヒ石勒等ヲ遣シ、晋ノ内郡ヲ攻ム、以テ洛陽ニ至ル、勒ハ武郷ノ羯ノ人ナリ。
〔武郷〕遼州ニアリ、〔羯〕虜ノ別号ナリ、上黨、武郷ノ後、匈奴ノ別部入テ之ニ居ル、後、胡戎ノ号ト為ス、以テ先キ、嘗テ洛陽ニ至リ、上東門ニ倚テ、長嘯ス、王衍、其異アルヲ識ル。
王衍、石勒カ長嘯スルヲ觀テ、其ノ異志アツテ、將テ殺ス、天、下、後、寇ヲ為ス、已テニ漢ニ從フ。○漢主淵卒ス、子、和、立ツ。聰ノ聰、弒ノ之ニ代ル。

〔羽檄〕武帝、奏事ニ曰ク、若シ急アラハ、則チ鳥羽ヲ加ヘ、之ヲ檄ニ種ス、故ニ羽檄ト曰フ。

太傅、東海王越、兵ヲ遣シ、入テ宿衛ス、仍テ使ヲ遣シ、羽檄ヲ以テ、天下ノ兵ヲ徵メ、入テ援シム、越自ラ兵ヲ帥テ、石勒ヲ討ス、軍ニ卒ス、勒カ兵、越カ軍ヲ敗ル、太尉王衍等ヲ執ス、衍自ラ言ノ、少ヨリ宦情ナシ、世事ニ豫ラスト、勒カ曰ク、吾レ天下ヲ行ル多シ、未タ嘗テ此ノ輩ノ人ヲ見ス、尚ヲ存ス可キカト、言ハ、人品ノ雋秀ヲ惜テ、之人曰ク、彼レ皆ナ晋ノ王公、終ニ吾カ為メニ用ラレシト、勒カ曰ク、然ト雖

其[排]推ナリ、謂ハ
以テ之ヲ推倒メ、
スルナリ、歴殺

モ、要ス、鋒刃ヲ加フ可ラスト、夜、人ヲ
ノ、墻ヲ排シ、之ヲ殺サシム。懷帝、紀
王、行等ヲ執ヘ、之ヲ幕下ニ坐セシメ、
問フ由ヲ陳ス。故ヲ以テ幕下ニ行、具サニ禍
且ツ言フ、少ヨリ官情ナシ、世事ニ豫
ラ、以テ自ラ免ルヲ勸テ、尊号ヲ稱セシ
メ、ヨリ朝ニ登リ、名、四海ヲ蓋セ、身重
任ニ居ル、何ソ登リ、名、四海ヲ蓋セ、身重
君ニヤ、非スソ、誰破ソヤト、○漢主聰、呼延
晏ヲ遣シ、兵ニ將トシ、洛陽ヲ攻ム、劉
曜、王弥、石勒、皆ナ會ス、遂ニ洛陽ヲ陷
ル、帝ヲ執テ、平陽ニ送ル、尋テ殺サル
○帝、在位六年、改元スル者一ツ、曰ク、

石勒人ヲノ王行ヲ殺
ス圖



永嘉、秦王、長安ニ立ツ、是ヲ孝愍皇帝
ト為ス

孝愍皇帝名ハ業、吳王晏ノ子、武帝ノ孫
ナリ、秦王ニ封セラシメ、洛陽既ニ陷ル、
荀藩、王ヲ奉メ、許昌ニ趨ル、時ニ年十
ニ、已テニソ、索紘、迎ヘテ雍州ニ入ル、
刺史賈疋等、奉メ皇太子ト為ス、行臺
ヲ建ツ、盜疋ヲ殺ス、麴允、雍州ヲ領ス
○雍州ノ一、即懷帝ノ凶問至ル、王長
安ニ即位ス○石勒、石虎、說勅力次子一
ヲ遣シ、鄴ヲ攻ム、陷レテ之ニ據ル○

〔小城〕子城ナリ
〔青衣〕賤者ノ服
ナリ酒ヲ行コ
酒ヲ盛リ、觴
行フナリ

漢、屢長安ニ寇ス、麴允、索綝、屢之ヲ敗
ル、未夕幾クナラス、漢ノ兵、連ニ諸郡
ヲ陷ル、長安ニ逼ル、先ツ外城ヲ陷ル、
麴允、索綝、退テ小城ヲ守ル、内外断絶
ス、城中饑甚シ、帝出テ降ル、漢ノ將劉
曜、平陽ニ送ル、聰群臣ヲ享ス、帝ニ命
メ、青衣ヲ著ク、酒ヲ行ヒ、爵ヲ洗ハシ
ム、又蓋ヲ執ラシム、後、害ニ遇フ、帝、在
位四年、改元スル者一ツ、曰ク、建興、西
晋、武帝ヨリ是ニ至ル、凡テ四世、五十
二年、瑯琊王、建業ニ立ツ、是ヲ中宗元

皇帝ト為ス

沖冠嶺著十八史畧譯解卷之五終

